

## イミダクロプリド (案)

1. 品目名：イミダクロプリド (Imidacloprid)

2. 用途：殺虫剤

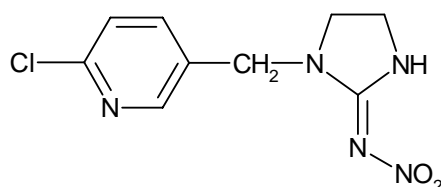
クロロニコチル系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体に結合し、神経伝達を遮断するなどの作用により殺虫効果を示すと考えられている。

3. 化学名：

1-(6-chloro-3-pyridylmethyl)-*N*-nitroimidazolidin-2-ylideneamine (IUPAC)

1-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*-nitro-2-imidazolidinimine (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式  $C_9H_{10}ClN_5O_2$

分子量 255.7

水溶解度 0.48 g/L (20.0°C)

分配係数  $\log_{10}Pow=0.57$  (21°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名、使用時期となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、申請者から、「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成16年2月5日付け食安発第0205001号）に基づき、コーヒー豆に係る残留基準の設定が要請されている。

(1) 国内における使用方法

①2.0%イミダクロプリド箱粒剤

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネミズゾウムシ イネアザミウマ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌5L)1箱 当り50～80g	移植2日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上 から均一に 散布する	3回以内 (育苗箱への 処理及び側条 施用は合計1 回以内、本田 での散布は 2回以内)
	イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 1箱当り50g				

②1.0%イミダクロプリド粒剤

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3kg/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	3回以内 (種もみへの処理 は1回以内、育苗 箱への処理及び 側条施用は合計1 回以内、本田で の散布は2回以内)
かんきつ (苗木)		ミカンハモグリガ	20g/樹 (6kg/10a)	育苗期	1回	株元散布	—
れんこん		クワイクビレアブラムシ イネネクイハムシ	3kg/10a	植付時		植溝土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混 和は1回以内、植 付後は2回以内)
ばれいしょ		アブラムシ類	4kg/10a				
さといも			3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混 和は1回以内、散 布は2回以内)
豆類 (種実)							
さやいんげん							

②1.0%イミダクロプリド粒剤（つづき）

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
未成熟そらめめ	—	アブラムシ類	2g/植穴	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)
			3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	
2g/植穴			定植時	植穴土壌混和		3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	
3kg/10a			は種時	播溝土壌混和			
きゅうり		アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和	
		コナジラミ類	2g/株			植穴土壌混和	
すいか		アブラムシ類	5g/株 (3kg/10a)	定植時		株元土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
			1~5g/株 (3kg/10a)			植穴土壌混和	
メロン		アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計3回以内)
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和	
		コナジラミ類	2g/株			植穴土壌混和	
かぼちゃ		コナジラミ類 アザミウマ類	2g/株	定植時		植穴土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
にがうり		アブラムシ類	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和	2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)
トマト ミニトマト	コナジラミ類	0.5~1g/株	育苗期後半	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計2回以内)		
	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	定植時	植穴土壌混和			

②1.0%イミダクロプリド粒剤（つづき）

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ピーマン とうがらし類	—	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布は合計2回以内)
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は 株元土壌混和	
なす		アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計2回以内)
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は 株元土壌混和	
ねぎ わけぎ あさつき		ネギアザミウマ	4kg/10a			植溝土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和 は1回以内、散布は 2回以内)
はくさい		アブラムシ類	0.5g/株			植穴土壌混和	
だいこん			3~6 kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混 和は1回以内、は種 後2回以内)
非結球 あぶらな科 葉菜類							2回以内 (は種時の土壌混和 は1回以内)
なばな類							なばなは2回以内 (は種時の土壌混 和は1回以内、な ばな以外のなばな 類は1回)
いちご		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	0.5g/株	育苗期後半		株元散布	1回
パセリ	定植時			植穴土壌混和	2回以内 (定植時の土壌混 和及び株元散布は 合計1回以内、散布 は1回以内)		
こんにゃく	アブラムシ類	3~6 kg/10a	倍土時 (基根伸長期)	株元土壌混和	1回		
		6kg/10a	生育期 但し収穫21日 前まで	茎葉散布			

②1.0%イミダクロプリド粒剤（つづき）

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
さといも (葉柄)	—	アブラムシ類	4kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)
やまのいも		コガネムシ類					3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
やまのいも (むかご)							1回
まくわうり		アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
かんしょ		コガネムシ類	4kg/10a	植付時		作条土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
じゅんさい	じゅんさい田	ユスリカ類	3kg/10a	収穫前日まで		散布	1回
にら	—	ネギアザミウマ	4kg/10a	収穫30日前まで		株元散布	2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、株元散布は1回以内)
				定植時		植溝土壌混和	
キャベツ		アブラムシ類	0.5g/株	定植時	植穴土壌混和	3回以内 (育苗期の灌水及び定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
レタス							株元散布
ブロッコリー				定植時	植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の灌水は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	

③10.0%イミダクロプリド水和剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
りんご	アブラムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	1000～ 2000倍	200～ 700L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内	
なし	アブラムシ類 カメムシ類	1000倍						
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍						
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍						収穫14日前まで
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1000～ 2000倍 1000倍		収穫21日前まで				
かき	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍		収穫7日前まで				3回以内
うめ すもも	アブラムシ類	2000倍		収穫21日前まで				2回以内
くり	クリイガアブラムシ	1000倍		収穫7日前まで				3回以内
マンゴー	チャノキイロアザミウマ			収穫14日前まで				
稲	ツマグロヨコバイ ウンカ類	2000倍		60～150 L/10a				収穫7日前まで
稲 (育苗箱)	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類	100倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 0.5L	移植2日前 ～移植当日	1回	育苗箱当り 希釈液0.5L を苗の上から 灌注する	3回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内、本田 での散布は2回以内)	

③10.0%イミダクロプリド水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	アブラムシ類	1000～3000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)
		16倍	3.2L/10a			無人ヘリコプターによる散布	
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ミナミキイロアザミウマ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
すいか	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで			4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
メロン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)			2回以内			4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計3回以内)
にがうり	ミナミキイロアザミウマ			2回以内	2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)		
トマト	アブラムシ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む) オンシツコナジラミ			2回以内	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)		
なす	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ オンシツコナジラミ			3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)			

③10.0%イミダクロプリド水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類	2000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
てんさい	テンサイトビハムシ アブラムシ類	60倍	ペーパーポット 1冊当り 1L (3L/m <sup>3</sup> )	定植時	1回	苗床灌注	1回
茶	チャノキイロアザミウマ	1000～ 2000倍	200～ 400L/10a	摘採7日前まで		散布	
	チャノミドリヒメヨコバイ	1000倍					
	チャノホソガ	2000倍					

③10.0%イミダクロプリド水和剤（つづき）

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、 ガラス 室、ビ ニール ハウス 等密閉 できる 場所	アブラムシ類	100g /10a	5L /10a	収穫前日まで	3回以内	常温煙霧	4回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計3回以内)
なす						2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計2回以内)
ぶどう		チャノキイロアザミウマ	200g /10a	9L /10a	収穫21日前まで			2回以内



③10.0%イミダクロプリド水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
湛水直播 水稻	ツマグロヨコバイ ウンカ類	種もみ3kg当り 150～200g	播種前	1回	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣（地上は種用、空中散播及び無人ヘリコプターによる散播用）	3回以内 （種もみへの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
小麦	ヤギシロトビムシ	種子重量の 0.15%			種子粉衣	3回以内 （種子粉衣は1回以内、散布は2回以内）

④0.25%イミダクロプリド粉剤

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3～4kg /10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 （種もみへの処理は1回以内、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布は2回以内）
		カメムシ類	4kg/10a				
		イネドロオイムシ	3kg/10a				
れんこん		アブラムシ類		収穫14日前まで			3回以内 （植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内）
水田作物、畑作物（休耕田）	ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優先している休耕田	カメムシ類	4kg/10a	—			2回以内

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数			
とうもろこし	アブラムシ類	64倍	3.2L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)			
オクラ	アブラムシ類 アザミウマ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内			
しそ	アブラムシ類			1回	1回					
レタス				収穫7日前まで	2回以内		3回以内 (育苗時の株元散布は1回以内、散布は2回以内)			
非結球レタス							2回以内			
キャベツ							3回以内 (育苗期の灌漑及び定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)			
はくさい							3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)			
みずな							収穫3日前まで	2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)		
食用ぎく							アブラムシ類 アザミウマ類	収穫7日前まで	2回以内	2回以内
ふき							アブラムシ類 コナジラミ類			
畑わさび							アブラムシ類			
わさび		畑育苗期	3回以内							
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2000倍	200~700 L/10a			収穫7日前まで	2回以内			
なし	アブラムシ類	5000倍		収穫3日前まで						
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ									
未成熟そらまめ	アブラムシ類	4000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)				
だいこん				収穫14日前まで	2回以内	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、は種後は2回以内)				

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
ほうれんそう	アブラムシ類 ネギアザミウマ	4000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	
非結球あぶらな科葉菜類（みずなを除く）	アブラムシ類 コナジラミ類			収穫14日前まで			2回以内	2回以内 （は種時の土壌混和は1回以内）
ごぼう	アブラムシ類			収穫7日前まで			2回以内	2回以内
ねぎ	ネギアザミウマ	2000～ 4000倍		収穫14日前まで	1回		3回以内 （定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）	
わけぎ あさつき				収穫3日前まで				
モロヘイヤ		2000倍		収穫14日前まで	1回			1回
葉ごぼう	アブラムシ類	4000倍		収穫14日前まで	2回以内		散布	2回以内
ふだんそう				収穫7日前まで				
食用さくら（葉）	アザミウマ類			収穫3日前まで	1回			1回
くわい	アブラムシ類			収穫21日前まで	3回以内			3回以内
エンダイブ				収穫7日前まで	2回以内			2回以内
きゅうり	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ			収穫前日まで	3回以内			4回以内 （育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内）
メロン				収穫3日前まで				4回以内 （育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）
せり科葉菜類（ただし、コリアンダー（葉）、セルリー、パセリ、みつば及びせりを除く）	アブラムシ類			収穫14日前まで	1回			1回
れんこん					2回以内			3回以内 （植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内）
はまぼうふう（葉）								
メキャベツ			収穫7日前まで		2回以内			
非結球メキャベツ								

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	ケシキスイ類 コアオハナムグリ	4000～ 5000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	コナカイガラムシ類	2500倍						
	アカマルカイガラムシ	2500～ 5000倍						
	チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫	2000～ 5000倍						
	ミカンキジラミ	2000倍	5L/10a					
	ゴマダラカミキリ成虫	40倍						
	アブラムシ類	20倍						
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	5000倍	200～700 L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内	
あんず	アブラムシ類		収穫7日前まで					
キウイフルーツ	カメムシ類		2000倍	収穫前日まで				
さんしょう (葉)	アブラムシ類	4000倍	100～300 L/10a	株養成期 但し、収穫180日前まで	3回以内	散布	3回以内	
パセリ				収穫14日前まで	1回		2回以内 (定植時の土壌混 和及び株元散布は 合計1回以内、散布 は1回以内)	
ピタヤ				2000倍	収穫7日前まで		2回以内	2回以内
アセロラ しそ(花穂)				4000倍				
コリアンダー (葉)					収穫7日前まで		3回以内	3回以内
セルリー				2回以内	2回以内			
食用ブriumラ				収穫14日前まで	3回以内		3回以内	
きく (葉)				根株養成期 但し、収穫60日前まで				
うど	2000倍							

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	アブラムシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
かぼちゃ		4000倍		収穫前日まで			3回以内
ズッキーニ				収穫3日前まで	2回以内		
ヤングコーン				収穫前日まで			
いちよう（種子）	イチョウヒゲビロウドカミキリ成虫						2回以内

⑥20.0%イミダクロプリド水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
わさび	アブラムシ類	4000倍	100～200 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内

⑦2%イミダクロプリド・4%フルベンジアミドフロアブル

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コナガ アオムシ カブラヤガ ハスモンヨトウ	100倍	セル型 育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット 1冊 (30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) あたり 0.5～1L	定植 3日前 ～ 定植時	1回	灌注	3回以内 (育苗期の灌注及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)
ブロッコリー	アブラムシ類 コナガ						4回以内 (育苗期後半の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	3回以内 (灌注は1回以内、散布は2回以内)

⑧70.0%イミダクロプリド粉末

作物名	作物名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
てんさい	テンサイトビハムシ	90～130g /ユニット*	は種前	1回	種子被覆剤に混和後、種子にコーティングする	1回
	テンサイハモグリハナバエ	130g /ユニット*				

\* : 1ユニット (約100,000粒) /ha

⑨70.0%イミダクロプリド粉末

作物名	作物名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
とうもろこし	アブラムシ類	9～14g/10a	は種前	1回	種子処理機による種子粉衣	3回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は2回以内)

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲 (育苗箱)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	500倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 0.5L	移植2日前 ～移植当日	1回	育苗箱当り 希釈液0.5L を苗の上から 灌注する	3回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は 合計1回以内、 本田での散布は 2回以内)
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	500～ 1000倍					
かんきつ	アブラムシ類 チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ ケシキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ コナカイガラムシ類 アカマルカイガラムシ コナジラムシ類	10000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカンキジラミ アザミウマ類	5000倍					
	カメムシ類	5000～ 10000倍					
げっきつ	ミカンキジラミ	5000倍		発生初期	4回以内		4回以内

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ	5000倍	200～700 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類	10000～ 15000倍					
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	10000倍					
うめ すもも	アブラムシ類			収穫21日前まで			
なし	コナカイガラムシ類	5000倍		収穫3日前まで			
	アブラムシ類 カメムシ類	5000～ 10000倍					
もも	アブラムシ類	10000倍		収穫14日前まで			
	モモハモグリガ カメムシ類						
ネクタリン	アブラムシ類	5000～ 10000倍		収穫21日前まで			
	モモハモグリガ カメムシ類	10000倍					
ぶどう	コナガカイガラムシ類	5000倍	収穫7日前まで				
	フタテンヒメヨコバイ	10000倍					
	チャノキイロアザミウマ	5000～ 10000倍					
かき	コナガカイガラムシ類	5000倍	収穫14日前まで				
	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ	10000倍					
	カメムシ類	5000～ 10000倍					
マンゴー パッションフルーツ	アザミウマ類	10000倍	収穫7日前まで	2回以内	2回以内		
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ		収穫前日まで				
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計2回以内)	

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
トマト	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	
	コナジラミ類	5000～10000倍						
ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類	10000倍						
きゅうり	アブラムシ類	5000～10000倍						
	コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	5000～10000倍						
すいか	アブラムシ類	10000倍						
	ミナミキイロアザミウマ	5000～10000倍						
メロン	コナジラミ類	10000倍						
	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	5000～10000倍						
うり類 (漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	10000倍						収穫7日前まで
ズッキーニ	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類		収穫前日まで					
にがうり	ミナミキイロアザミウマ		収穫7日前まで					
なばな			収穫7日前まで					
とうもろこし	アブラムシ類	10000～15000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)	
		160倍	3.2L/10a					
		80倍	1.6/10a					
ばれいしょ	アブラムシ類	2500倍	25L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)	
		5000～15000倍	100～300 L/10a					
	オオニジュウヤホシテントウ	15000倍	160倍					3.2L/10a
	アブラムシ類	80倍	1.6/10a					無人ヘリコプターによる散布



⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
豆類 (種実)	アブラムシ類	10000倍	80～300 L/10a	収穫30日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和 は1回以内、散布は 2回以内)
とうがらし類	アザミウマ類 ミナミキイロアザミウマ	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで			3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
てんさい	アブラムシ類 カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ	300倍	ペーパーポット 1冊あたり1L (3L/m <sup>2</sup> )	定植時	1回	苗床灌注	1回
	テンサイトビハムシ	300～ 500倍					
みょうが (花穂)	カイガラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布、但し 花穂の発生 期にはマル チフィルム 被覆により 散布液が 直接花穂に 飛散しない 状態で使用する	2回以内
みょうが (茎葉)				みょうが(花穂) の収穫前日 まで 但し、花穂を 収穫しない 場合にあ っては 開花期終了 まで			
すいぜんじな	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の 土壌混和は 1回以内、 植付後は 2回以内)
さといも (葉柄)				収穫前日 まで			
かんしょ				収穫7日 前まで			
にんじん				収穫3日 前まで			

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数		
さやいんげん さやえんどう 実えんどう	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)		
豆類 (未成熟、 ただし、 さやいんげん、 さやえんどう、 実えんどう 及び未成熟 そらまめを 除く)				収穫14日前まで				3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)	
未成熟そらまめ				3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)					
やまのいも				3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)					
はくさい				3回以内 (育苗期の灌注及び定植時の土壌混和は合計1回以内、 散布は2回以内)					
キャベツ				3回以内 (育苗期の株元散布は1回以内、散布は2回以内)					
レタス				2回以内					
ほうれんそう				3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)					
ねぎ				5000倍				収穫前日まで	2回以内
たまねぎ				5000～ 10000倍				収穫14日前まで	2回以内
みつば	アブラムシ類	10000倍	収穫7日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	2回以内					

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ	5000～ 10000倍	200～400 L/10a	摘採7日前まで	1回	散布	1回	
	ツマグロアオカスミカメ	5000倍						
小麦	アブラムシ類	15000倍	60～150 L/10a	収穫21日前 まで	2回以内			3回以内 (種子粉衣は 1回以内、 散布は2回以内)
アテモヤ	コカハラムシ類	10000倍	200～700 L/10a	収穫7日前 まで				2回以内
かぼちゃ	アブラムシ類		100～300 L/10a	収穫前日 まで				3回以内 (定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)
アスパラガス	アザミウマ類		5000倍			2回以内		

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	作物名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
乾田直 播水稻	ウンカ類	種もみ4～8kg 当り 30～40g/10a	は種前	1回	種子塗沫 (未催芽籾)	3回以内 (種もみへの処理 は1回以内、 本田での散布 は2回以内)
湛水直 播水稻		種もみ3kg当り 30～40g/10a			過酸化カルシウム剤 との同時湿粉衣（地 上は種用、空中散播 及び無人ヘリコプタ ーによる散播用）	

⑪4.0%イミダクロプリド顆粒水和剤

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料 に溶かし側条 施肥田植機で 施用する。	3回以内 (種もみへの処理 は1回以内、育苗 箱への処理及び側 条施用は合計1回 以内、本田での散 布は2回以内)	2回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内)

⑫0.0050%イミダクロプリド液剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	原液	収穫7日前まで	2回以内	希釈せず そのまま 散布する	3回以内 (育苗トレイへの灌注及び定植時の土壌混和は1回以内、散布後は2回以内)
レタス						3回以内 (育苗期の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
非結球レタス			2回以内			
ほうれんそう						
きゅうり	収穫前日まで		3回以内	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)		
トマト				2回以内		3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
しそ	アブラムシ類	収穫7日前まで	1回	1回		

(2) 海外における使用方法

イミダクロプリド 17.4%フロアブル

作物名	1回当たりの使用量	本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量	使用時期	使用方法
コーヒー豆	8.0 fl oz (製剤)/A (0.10 lb ai/A = 0.112 kg ai/ha)	5回 (*) [最大 0.50 lb ai/A]	0.50 lb ai/A (0.56 kg ai/ha)	収穫7日前まで	茎葉散布

## 6. 作物残留試験

### (1) 分析の概要

#### ① 分析対象の化合物

イミダクロプリド

#### ② 分析法の概要

試料を含水アセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、塩化ナトリウム溶液及びヘキサンを加えて振とうする。水層にジクロロメタンを加えて転溶後、ジクロロメタン層を炭酸カリウム溶液で洗浄し、濃縮後、シリカゲルカラムで精製し、高速液体クロマトグラフで定量する。

このほか、ジクロロメタン転溶を行わず、珪藻土カラム及びシリカゲルカラム等による精製の後、高速液体クロマトグラフ（UV検出器）で定量する方法や、抽出後、グラファイトカーボンミニカラムによる精製の後、LC-MSを用いて定量する方法も用いられる。

検出限界 0.005～0.2ppm

### (2) 作物残留試験結果

#### ① 稲

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、施用後133, 111日の最大残留量<sup>注1)</sup>は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.005、<0.005 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、施用後133, 111日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.01、0.03 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、1%粒剤を1回散布（4kg/10a）したところ、散布後88, 66日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。  
注2)

イミダクロプリド：<0.005、<0.005 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、1%粒剤を1回散布（4kg/10a）したところ、散布後88, 66日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.01、0.04 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、0.25%粉剤を2回散布（4kg/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留

量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.038、0.018 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、0.25%粉剤を2回散布（4kg/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.40、0.32 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、1%粒剤を2回水面施用（3kg/10a）したところ、施用後80、70日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.005、0.006 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、1%粒剤を2回水面施用（3kg/10a）したところ、施用後80、70日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04、0.06 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（120、150L/10a）したところ、散布後28～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.058、0.036 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（120、150L/10a）したところ、散布後28～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18、0.24 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後30～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.076、0.030 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後30～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.22、0.28 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後28～42日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08、0.02 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の50倍希釈液を1回灌注（0.5L/箱）し、2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後28～45日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.04、0.04 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（1例）において、10%水和剤を1回施用（200g/種子3kg）し、2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤を1回施用（200g/種子3kg）し、2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後28～42日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16、0.09 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、20%顆粒水和剤の50倍希釈液を1回苗箱灌注（250mL/箱）したところ、灌注後120日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、20%顆粒水和剤の50倍希釈液を1回苗箱灌注（250mL/箱）したところ、灌注後120日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.02、<0.02 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、20%顆粒水和剤の50倍希釈液を1回苗箱灌注（250mL/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後27～43日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.05、0.03 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、20%顆粒水和剤の50倍希釈液を1回苗箱灌注（250mL/箱）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布

(150L/10a) したところ、散布後27～43日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.08、0.02 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.22、0.31 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回箱施用（80g/箱）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：3.39、1.38 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の125倍希釈液を1回苗箱灌注（250mL/箱）し、5,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～29日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.26、0.28 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の125倍希釈液を1回苗箱灌注（250mL/箱）し、5,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～29日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：2.96、1.36 ppm

稲（玄米）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回移植当日に箱施用（80g/箱）し、1%粒剤を2回散布（3kg/10a）したところ、散布後35～56日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.02、0.02 ppm

稲（稲わら）を用いた作物残留試験（2例）において、2%粒剤を1回移植当日に箱施用（80g/箱）し、1%粒剤を2回散布（3kg/10a）したところ、散布後35～56日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.56、0.12 ppm

## ②小麦

小麦（玄麦）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤を1回は種前に



塗抹処理（種子重量の0.15%）し、50%顆粒水和剤の15000倍希釈液を2回散布（200、150L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、200L/10aを散布した試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.013、<0.005 ppm

小麦（玄麦）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤を1回は種前に塗抹処理（種子重量の0.15%）し、50%顆粒水和剤の10000倍希釈液を2回散布（200、150L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.016、<0.005 ppm

### ③とうもろこし

とうもろこし（乾燥種子）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルを1回種子塗抹（100cc/種子3kg）し、2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

とうもろこし（生食用子実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルを1回種子塗抹（100cc/種子3kg）し、2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

とうもろこし（脱穀した種子）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルを1回播種時種子塗抹（100mL/種子3kg）し、60倍希釈液を2回無人ヘリコプター散布（3L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

とうもろこし（生食用子実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルを1回播種時種子塗抹（100mL/種子3kg）し、60倍希釈液を2回無人ヘリコプター散布（3L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

### ④だいず

だいず（乾燥子実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝処理（3kg/10a）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後28～42日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、こ

これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.01、<0.01 ppm

⑤あずき

あずき（乾燥子実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝土壌混和（4kg/10a）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.05、0.04 ppm

⑥らっかせい

らっかせい（乾燥子実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝土壌混和（3kg/10a）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後28～42日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.05、<0.05 ppm

⑦ばれいしょ

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、70%水和剤を1回種いも処理（100g/水1L/いも200kg）し、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.186、0.020 ppm

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時植溝処理（4kg/10a）し、10%水和剤の1,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.02、0.02 ppm

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の15倍希釈液を2回空中散布（3L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.02、<0.02 ppm

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.02、<0.02 ppm

ばれいしょ（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回植付時植溝土壌混和（4kg/10a）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.02、<0.01 ppm

⑧さといも

さといも（球茎）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、20%水和剤の4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

⑨かんしょ

かんしょ（塊根）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

かんしょ（塊根）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を1回株元土壌灌注（800L/10a）した後、2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.01、<0.01 ppm

⑩やまのいも

やまのいも（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

やまのいも（むかご）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回植付時植溝土壌混和（4kg/10a）したところ、処理後210、140日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.06、<0.05 ppm

⑪こんにゃくいも

こんにゃくいも（球茎）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回培土時土壌混和（6kg/10a）した後、1回散布（6kg/10a）したところ、散布後21～30日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内

で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、0.02 ppm

⑫てんさい

てんさい（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤を1回移植時、苗箱灌注処理（100g/6L/6冊/10a）し、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

てんさい（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、70%粉末を1回種子にコーティング（130g/ユニット）し、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

てんさい（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の300倍希釈液を1回灌注（1L/冊）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

⑬だいこん

だいこん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝土壌混和（6kg/10a）したところ、散布後42～67日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.014、0.011 ppm

だいこん（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝土壌混和（6kg/10a）したところ、混和後42～67日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.013、0.022 ppm

だいこん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝土壌混和（6kg/10a）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

だいこん（葉部）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時

播溝土壤混和 (6kg/10a) し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後14~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド : 0.20、0.01 ppm

#### ⑭はくさい

はくさい (茎葉) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.06、0.11 ppm

はくさい (茎葉) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド : 0.06、0.06 ppm

はくさい (茎葉) を用いた作物残留試験 (2例) において、1%粒剤を定植時土壤混和 (1g/株) し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布 (200, 230.4 L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.05、0.13 ppm

#### ⑮キャベツ

キャベツ (葉球) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.04、0.21 ppm

キャベツ (葉球) を用いた作物残留試験 (1例) において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布 (200L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.02 ppm

キャベツ (葉球) を用いた作物残留試験 (2例) において、1%粒剤を定植時植穴土壤混和 (0.5g/株) し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布 (300L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.16、0.05 ppm

キャベツ (葉球) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの200

倍希釈液を定植時苗灌注 (0.5L/トレイ) した後、2,000倍希釈液を2回散布 (300L/10a) したところ、散布後7~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.20、0.07 ppm

#### ⑯芽キャベツ

芽キャベツ (芽球) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド : <0.2、<0.2 ppm

#### ⑰みずな

みずな (茎葉) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を1回散布 (200L/10a) したところ、散布後3~14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド : 1.36、2.39 ppm

みずな (茎葉) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後3~14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド : 1.30、2.20 ppm

#### ⑱ブロッコリー

ブロッコリー (花蕾) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの50倍希釈液を定植前苗灌注処理 (0.25L/トレイ) し、1%粒剤を定植時植穴土壌混和 (0.5g/株) し、20%フロアブルの2000倍液を2回散布 (150L、300L/10a) したところ、散布後3~14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド : 0.28、1.94 ppm

ブロッコリー (花蕾) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの2000倍液を2回散布 (150L、300L/10a) したところ、散布後3~14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド : 0.40、2.30 ppm

#### ⑲非結球芽キャベツ

非結球芽キャベツ (本葉) を用いた作物残留試験 (2例) において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布 (200L/10a) したところ、散布後7~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.2、<0.2 ppm

非結球芽キャベツ（えき芽葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.5、<0.2 ppm

#### ⑳畑わさび

畑わさび（葉柄＋根茎）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04 ppm

畑わさび（葉＋葉柄＋根茎）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.25 ppm

畑わさび（葉＋葉柄＋根茎）を用いた作物残留試験（3例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.38、0.38、0.75 ppm

#### ㉑わさび

わさび（花及び花茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：2.30、0.74 ppm

わさび（葉及び葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.37、0.27 ppm

わさび（根及び根茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.20、0.06 ppm

㊸なばな

なばな（花茎）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（250L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.61、0.46 ppm

㊹ごぼう

ごぼう（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

㊺レタス

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（105～150, 200L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.08、0.10 ppm

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（105～150, 200L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.09、0.08 ppm

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（0.5g/株）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200, 230L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.46、0.17 ppm

レタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの200倍希釈液を定植時苗灌注（0.5L/トレイ）した後、4,000倍希釈液を2回散布（200, 230L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.47、0.19 ppm

㊻サラダ菜

サラダ菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.4、0.2 ppm



②⑥リーフレタス

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.8、0.2 ppm

②⑦エンダイブ

エンダイブ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200、303～560.6 L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、303～560.6 L/10a散布された試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：2.26、2.21 ppm

②⑧食用ぎく

食用ぎく（花卉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を1回散布（250～300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.67、0.22 ppm

食用ぎく（花卉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（250～300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.72、0.44 ppm

②⑨きく

きく（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.29、0.22 ppm

③⑩ふき

ふき（茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.12、0.08 ppm

③⑪葉ごぼう

葉ごぼう（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.60、1.14 ppm

③②すいぜんじな

すいぜんじな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.4、2.6 ppm

③③たまねぎ

たまねぎ（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

たまねぎ（鱗茎）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

③④根深ねぎ

根深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16、<0.01 ppm

③⑤葉ねぎ

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04、0.22 ppm

③⑥にら

にら（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）した後、1回散布（4kg/10a）したところ、散布後30～60日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.4、<0.4 ppm

③⑦アスパラガス

アスパラガス（若茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブ

ルの2000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.14、0.30 ppm

⑳わけぎ

わけぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.7、1.0 ppm

㉑にんじん

にんじん（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（200、300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、0.02 ppm

㉒パセリ

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回定植時植穴処理（0.5g/株）したところ、処理後50～75日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16 ppm

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回定植時植穴処理（0.5g/株）したところ、処理後49～75日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.36 ppm

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴処理（0.5g/株）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、処理後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.4、1.3 ppm

㉓セルリー

セルリー（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.30、0.68 ppm

㉔みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（150, 200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：2.77、2.50 ppm

⑬はまぼうふう

はまぼうふう（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18、0.10 ppm

⑭トマト

トマト（果実）を用いた作物残留試験（3例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04、0.12、0.14 ppm

トマト（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08 ppm

トマト（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、10%水和剤の2,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.06 ppm

トマト（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08 ppm

トマト（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、10%水和剤の2,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.15 ppm

トマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（250、

257L/10a) したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.12、0.13 ppm

トマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない

イミダクロプリド：0.26、0.13 ppm。

#### ④⑤ミニトマト

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（200, 300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.24、0.52 ppm

#### ④⑥ピーマン

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）したところ、処理後46～62日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08、0.01 ppm

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～3日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.20、0.60 ppm

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（150、200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.8、0.8 ppm

#### ④⑦なす

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）したところ、処理後47～75日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.005、<0.005 ppm

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、処理後1～3日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.121、0.078 ppm

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤を2回常温煙霧処理（100g/5L/10a）したところ、処理後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04、0.12 ppm

⑯ししとう

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（300, 120L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.6、1.2 ppm

⑰伏見甘長とうがらし

伏見甘長とうがらし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（300, 284.9L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.2、1.5 ppm

⑱きゅうり

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）したところ、処理後38～51日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.010、<0.005 ppm

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、処理後1～3日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18、0.12 ppm

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、10%水和剤を3回常温煙霧処理（100g/5L/10a）したところ、処理後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04、0.04 ppm

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（2g/株）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を5回又は3回散布（250L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、5回散布した試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.08、0.20 ppm

きゅうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壤混和（2g/株）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（150～200, 300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.42、0.16 ppm

#### ㊦かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壤混和（2g/株）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（188.9, 200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.02、0.04 ppm

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を定植時植穴土壤混和（2g/株）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.09 ppm

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を定植時植穴土壤混和（2g/株）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.10 ppm

#### ㊧すいか

すいか（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（10g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を4回又は3回散布（200L/10a）したところ、散布後3～7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、0.04 ppm

すいか（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴処理（10g/株）し、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.11、0.02 ppm

#### ㊨メロン

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壤混和（2g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後3～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.01、0.01 ppm

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%水和剤の10,000倍希釈液を3回散布（250L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.03、0.03 ppm

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%水和剤の5,000倍希釈液を3回散布（300, 250L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.03、0.03 ppm

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（2g/株）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.02、<0.01 ppm

#### ㊦まくわうり

まくわうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を定植時植穴土壌混和（1g/株）したところ、処理後70～90日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.02、<0.02 ppm

#### ㊧にがうり

にがうり（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（250L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.47、0.85 ppm

にがうり（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（250L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16、0.42 ppm

#### ㊨ほうれんそう

ほうれんそう（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.03、0.17 ppm



㉟オクラ

オクラ（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（186～189L、200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18、0.18 ppm

オクラ（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（132～189L、200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.12、0.21 ppm

オクラ（さや）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16 ppm

㊱さやいんげん

さやいんげん（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴処理（2g/株）したところ、処理後48～74日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.01、0.05 ppm

さやいんげん（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（100,300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18、0.30 ppm

㊲さやえんどう

さやえんどう（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴土壌混和（2g/株）したところ、処理後100～130日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.06、<0.05 ppm

さやえんどう（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴土壌混和（2g/株）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.20、0.14 ppm

㊳未成熟だいず

未成熟だいず（えだまめ）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時播溝処理（3kg/10a）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、0.16 ppm

未成熟だいず（えだまめ）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴土壌混和（3kg/10a）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、処理後14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.10、0.16 ppm

#### ①未成熟ささげ

未成熟ささげ（さや）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回播種時植穴土壌混和（2g/株）したところ、処理後61～99日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.05、<0.05 ppm

#### ②未成熟そらまめ

未成熟そらまめ（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.11、0.20 ppm

#### ③れんこん

れんこん（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、0.25%粉剤を2回散布（4kg/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

れんこん（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回植付時作条土壌混和（3kg/10a）し、0.25%粉剤を2回散布（4kg/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

れんこん（可食部）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回植付時作条土壌混和（3kg/10a）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01 ppm

れんこん（可食部）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回植付時作条土壌混和（6kg/10a）した後、2回散布（6kg/10a）したところ、散布後14～

21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01 ppm

れんこん（可食部）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回植付時作条土壌混和（3kg/10a）し、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01 ppm

れんこん（可食部）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回植付時作条土壌混和（3kg/10a）した後、2回散布（6kg/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01 ppm

#### ⑥4モロヘイヤ

モロヘイヤ（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.4、1.0 ppm

#### ⑥5ふだんそう

ふだんそう（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.70、2.01 ppm

#### ⑥6食用さくら

食用さくら（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を1回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.80、0.36 ppm

#### ⑥7さといも（葉柄）

さといも（葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.48、0.30 ppm

さといも（葉柄）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を植付時植溝土壌混和（4kg/10a）し、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.10、0.24 ppm

⑥8 くわい

くわい（塊茎）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後21～43日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

⑥9 食用プリムラ

食用プリムラ（花器全体）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.23、0.18 ppm

⑦0 じゅんさい

じゅんさい（葉）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回散布（3kg/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.06 ppm

じゅんさい（葉）を用いた作物残留試験（1例）において、1%粒剤を1回散布（3kg/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16 ppm

⑦1 うど

うど（軟化茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（200L/10a）したところ、散布後60日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

⑦2 ヤングコーン

ヤングコーン（幼果・雌穂）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（100～150L/10a）したところ、散布後3～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

⑦3 温州みかん

温州みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（700, 500L/10a）したところ、散布後14～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.02、0.06 ppm

温州みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（700, 500L/10a）したところ、散布後14～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.08、2.28 ppm

温州みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの10倍希釈液を3回無人ヘリコプター散布（2.5L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

温州みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの10倍希釈液を3回無人ヘリコプター散布（2.5L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.24、0.22 ppm

#### ④夏みかん

夏みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

夏みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.43、0.66 ppm

夏みかん（果実全体）<sup>注3)</sup>を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（400L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.15、0.25 ppm

夏みかん（果肉）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10

倍希积液を3回無人ヘリコプター散布 (2.5L/10a) したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01 ppm

夏みかん（果皮）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希积液を3回無人ヘリコプター散布 (2.5L/10a) したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.19 ppm

夏みかん（果実全体）<sup>注3)</sup>を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希积液を3回無人ヘリコプター散布 (2.5L/10a) したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.06 ppm

#### ㊦いよかん

いよかん（果肉）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希积液を3回無人ヘリコプター散布 (2.5L/10a) したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.01 ppm

いよかん（果皮）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希积液を3回無人ヘリコプター散布 (2.5L/10a) したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.22 ppm

いよかん（果実全体）<sup>注3)</sup>を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希积液を3回無人ヘリコプター散布 (2.5L/10a) したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.07 ppm

#### ㊧すだち

すだち（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希积液を3回散布 (250L/10a) したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.03 ppm

すだち（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希釈液を3回無人ヘリコプター散布（2.5L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.15 ppm

㉗かぼす

かぼす（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を3回散布（600L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.26 ppm

かぼす（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの10倍希釈液を3回無人ヘリコプター散布（2.5L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.05 ppm

㉘りんご

りんご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（500L/10a）したところ、散布後21～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.120、0.029 ppm

りんご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（600L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.20、0.12 ppm

㉙なし

なし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後30～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.197、0.060 ppm

なし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,500倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.14、0.19 ppm

なし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの5,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08、0.06 ppm

なし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後28～42日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.13、0.12 ppm

なし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（350、400L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.15、0.20 ppm

#### ㊦びわ

びわ（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.02 ppm

びわ（果実・有袋）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04 ppm

びわ（果実・無袋）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：2.54 ppm

びわ（果実・有袋）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18 ppm

びわ（果実・無袋）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は



以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.19 ppm

㊦もも

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後30～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.195、0.140 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後30～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.593、0.388 ppm

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,500倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.12、0.11 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,500倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.53、0.70 ppm

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの5,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.06、0.07 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの5,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.26、0.30 ppm

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.16、0.14 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（400L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：1.2、2.2 ppm

㊸ネクタリン

ネクタリン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（15L/樹、700L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.28、0.18 ppm

㊹あんず

あんず（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの5,000倍希釈液を2回散布（400L、300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.29、0.17 ppm

㊺すもも

すもも（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（300、400L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.07、<0.01 ppm

すもも（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（300、400L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.04、<0.01 ppm

㊻うめ

うめ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（300、400L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.07、0.06 ppm

㊼いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴処理（1g/株）したところ、処理後105～160日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.01、0.03 ppm

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植穴処理（1g/株）し、10%水和剤の2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後3日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.81、0.18 ppm

#### ㊦ぶどう

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後21～30日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.338、0.256 ppm

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.16、0.28 ppm

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（4例）において、20%フロアブルの5,000倍希釈液を2回散布（300, 300, 500, 300L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.26、0.06、0.76、0.72 ppm

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.59、0.74 ppm

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の50倍希釈液を2回常温煙霧処理（10L/10a）したところ、処理後21～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.08、0.08 ppm

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の50倍希釈液を2回常温煙霧処理（10L/10a）したところ、処理後21～45日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.06、0.12 ppm

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の5,000

倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.78、0.41 ppm

㉘かき

かき（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を3回散布（500L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.35、0.28 ppm

㉙キウイフルーツ

キウイフルーツ（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（278, 300L/10a）したところ、散布後1～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.05、<0.05 ppm

㉚マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を2回散布（450L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.49、0.45 ppm

㉛パッションフルーツ

パッションフルーツ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（250, 625L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.15、0.28 ppm

㉜アセロラ

アセロラ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（500, 400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.18、0.30 ppm

㉝ピタヤ

ピタヤ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.26、0.11 ppm

④アテモヤ

アテモヤ（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（270L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.18 ppm

アテモヤ（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.02 ppm

⑤くり

くり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を3回散布（300L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.01、<0.01 ppm

⑥いちよう種子（ぎんなん）

いちよう（種子）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：<0.005 ppm

いちよう（種子）を用いた作物残留試験（1例）において、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は、適用範囲内で行われていない。

イミダクロプリド：0.01 ppm

⑦茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後13～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：2.30、1.92 ppm

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、10%水和剤の1,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後13～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.85、1.90 ppm

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：3.84、3.98 ppm

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、50%顆粒水和剤の5,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：2.53、3.31 ppm

⑨ コリアンダー

コリアンダー（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150、200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.49、1.07 ppm

⑩ あさつき

あさつき（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、1%粒剤を1回定植時植溝土壌混和（4kg/10a）し、20%フロアブルの2,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：2.4、1.4 ppm

⑪ しそ

しそ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を1回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：0.70、0.28 ppm

しそ（花穂）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：1.68、0.18 ppm

⑫ みょうが

みょうが（花穂）を用いた作物残留試験（1例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（350L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.02 ppm

みょうが（花穂）を用いた作物残留試験（1例）において、50%顆粒水和剤の10,000倍希釈液を2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.04 ppm

#### ⑩さんしょう

さんしょう（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、20%フロアブルの4,000倍希釈液を3回散布（150L/10a）したところ、散布後183、196日の最大残留量は以下のとおりであった。

イミダクロプリド：<0.1、<0.1 ppm

これらの試験結果の概要については、別紙1-1を参照。また、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

注2) 適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

注3) 夏みかん及びいよかんの果実全体の値は、果肉及び果皮の平均値から算出している。

## 7. 畜産物の推定残留量

本農薬については、稲に適用があるため、飼料として給与した稲わらや稲発酵粗飼料を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、農林水産省から畜産物に関する個別の残留基準の設定について要請されている。このため、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の最大残留農薬濃度と、JMPRにおける評価時に使用された動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留量を算出した。

### (1) 飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露される飼料中の残留農薬濃度を算出した。

本剤については、稲わら及び稲発酵粗飼料中に残留する農薬の指導基準として、それぞれ10ppm及び3ppmと設定されている。この指導基準や、前述の成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大残留農薬濃度

(Maximum Dietary Burden) を算出したところ、乳牛において8.1ppm、肉牛において7.7ppm、肉用鶏において0.81ppm、採卵鶏において0.58ppmと推定された。

また、指導基準値等の代わりに、作物残留試験の中央値 (STMR) を用いて求めた平均的な残留農薬濃度 (STMR dietary burden) は、乳牛6.9ppm、肉牛3.5ppm、肉用鶏0.39ppm及び採卵鶏0.10ppmと算出されている。

## (2) 動物飼養試験(家畜残留試験)

今回、畜産物中の推定残留量を算出するにあたっては、2002年に J M P R において評価された際に用いられた飼養試験の結果を参照した。

### ① 乳牛

乳牛に対し、飼料中濃度としてイミダクロプリド5、15、50ppm相当を含有するゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓中のイミダクロプリドを測定した。また、牛乳については、投与開始後、1、2、3、4、5、7、10、13、16、19、22、25、28 日目に搾乳したものを測定した (定量限界 : 0.02 ppm)。結果については表 1 を参照。

表 1. 組織中の残留量 (ppm)

	5ppm 投与群	15ppm 投与群	50ppm 投与群
筋肉	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.033 (最大) 0.0273 (平均)	0.15 (最大) 0.121 (平均)
脂肪	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.078 (最大) 0.0637 (平均)
肝臓	0.054 (最大) 0.05 (平均)	0.166 (最大) 0.133 (平均)	0.537 (最大) 0.49 (平均)
腎臓	0.032 (最大) 0.028 (平均)	0.101 (最大) 0.085 (平均)	0.365 (最大) 0.286 (平均)
乳	<0.02 (平均)	0.0413 (平均)	0.154 (平均)

### ② 産卵鶏

産卵鶏に対し、飼料中濃度としてイミダクロプリド2、6、20ppm相当を含む飼料を30~32日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓中のイミダクロプリドを測定した。また、鶏卵については、投与開始後、1、2、3、5、6、7、8、9、12、13、15、17、18、19、21、24、25、27、29、30 日目に採卵したものを測定した (定量限界 : 0.02 ppm)。結果については表 2 を参照。



表 2. 組織中の残留量 (ppm)

	2ppm 投与群	6ppm 投与群	20ppm 投与群
筋肉	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	0.021 (最大) 0.020 (平均)	0.072 (最大) 0.048 (平均)
脂肪	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)	<0.02 (最大) <0.02 (平均)
肝臓	0.042 (最大) 0.04 (平均)	0.159 (最大) 0.14 (平均)	0.0431 (最大) 0.35 (平均)
卵	<0.02 (平均)	0.049 (平均)	0.13 (平均)

### (3) 推定残留量

飼養試験における投与量とMaximum Dietary Burden又は STMR dietary burdenを用いて算出した畜産物中の推定残留量を比較し、推定残留量の最大値を求めた。結果については表 3-1 及び表 3-2 を参照。

表 3-1 畜産物中の推定残留量；牛 (ppm)

		筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
Maximum Dietary Burden	乳牛	0.024	<0.02	0.089	0.053	0.027
	肉牛	0.024	<0.02	0.084	0.051	
STMR Dietary Burden	乳牛	0.021	<0.02	0.066	0.039	0.024
	肉牛	<0.02	<0.02	0.035	0.020	
最大値		0.024	<0.02	0.089	0.053	0.027

表 3-2 畜産物中の推定残留量；鶏 (ppm)

		筋肉	脂肪	肝臓	卵
Maximum Dietary Burden	肉用鶏	<0.02	<0.02	0.017	
	採卵鶏	<0.02	<0.02	0.012	<0.02
STMR Dietary Burden	肉用鶏	<0.02	<0.02	0.0079	
	採卵鶏	<0.02	<0.02	0.0020	<0.02
最大値		<0.02	<0.02	0.017	<0.02

## 8. ADI の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第2項の規定に基づき、平成18年9月4日付け厚生労働省発食安第0904005号及び同法第24条第1項第1号の規定に基づき、平成

19年2月23日付け厚生労働省発食安第0223003号により食品安全委員会あて意見を求めたイミダクロプリドに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：5.7 mg/kg体重/day  
(動物種) ラット  
(投与方法) 混餌投与  
(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験  
(期間) 2年間  
安全係数：100  
ADI：0.057 mg/kg体重/day

## 9. 諸外国における状況

2001年に JMPR における毒性評価が行われADIが設定されている。国際基準がりんご、バナナ等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてアセロラ、アボカド等に、カナダにおいてレタス、おうとう等に、オーストラリアにおいてりんご、バナナ等に、ニュージーランドにおいてかんきつ類果実、たまねぎ等に基準値が設定されている。

## 10. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

イミダクロプリド本体

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、暴露評価対象物質としてイミダクロプリド（親化合物のみ）と設定している。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のイミダクロプリドが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論一日最大摂取量(TMDI))のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	TMD I / AD I (%) <sup>注)</sup>
国民平均	32.7
幼小児 (1~6歳)	65.4
妊婦	25.6
高齢者 (65歳以上)	34.1

注) TMD I 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

- (4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

## イミダクロプリド作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (玄米)	2	2%粒剤	80g/箱 箱施用	1回	133日 111日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
稲 (稲わら)	2	2%粒剤	80g/箱 箱施用	1回	133日 111日	圃場A:0.01 圃場B:0.03
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +1%粒剤	80g/箱 箱施用 +4kg/10a 水面施用	1+1回	88日 66日	圃場A:<0.005 (2回、88日) 圃場B:<0.005 (2回、66日) (#)
稲 (稲わら)	2	2%粒剤 +1%粒剤	80g/箱 箱施用 +4kg/10a 水面施用	1+1回	133日 111日	圃場A:0.01 (2回、88日) 圃場B:0.04 (2回、66日) (#)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +0.25%粉剤	80g/箱 箱施用 +4kg/10a 散布	1+2回	21, 28日	圃場A:0.038 (3回、21日) 圃場B:0.018 (3回、21日)
稲 (稲わら)	2	2%粒剤 +0.25%粉剤	80g/箱 箱施用 +4kg/10a 散布	1+2回	21, 28日	圃場A:0.40 (3回、21日) 圃場B:0.32 (3回、21日)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +1%粒剤	80g/箱 箱施用 +3kg/10a 水面施用	1+2回	80日 70日	圃場A:<0.005 (3回、80日) 圃場B:0.006 (3回、70日)
稲 (稲わら)	2	2%粒剤 +1%粒剤	80g/箱 箱施用 +3kg/10a 水面施用	1+2回	80日 70日	圃場A:0.04 (3回、80日) 圃場B:0.06 (3回、70日)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +10%水和剤	80g/箱 箱施用 +2000倍散布 120, 150L/10a	1+2回	30, 45日 28, 45日	圃場A:0.058 (3回、30日) 圃場B:0.036 (3回、28日)
稲 (稲わら)	2	2%粒剤 +10%水和剤	80g/箱 箱施用 +2000倍散布 120, 150L/10a	1+2回	30, 45日 28, 45日	圃場A:0.18 (3回、30日) 圃場B:0.24 (3回、28日)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +10%水和剤	80g/箱 箱施用 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	30, 44日 30, 45日	圃場A:0.076 (3回、30日) 圃場B:0.030 (3回、30日)
稲 (稲わら)	2	2%粒剤 +10%水和剤	80g/箱 箱施用 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	30, 44日 30, 45日	圃場A:0.22 (3回、30日) 圃場B:0.28 (3回、30日)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +10%水和剤	80g/箱 箱施用 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	28, 42日	圃場A:0.08 (3回、28日) 圃場B:0.02 (3回、28日)
水稻 (玄米)	2	10%水和剤	50倍灌注 0.5L/箱 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	30, 45日 28, 42日	圃場A:0.04 (3回、30日) (#) 圃場B:0.04 (3回、28日) (#)
水稻 (玄米)	1	10%水和剤	200g/種子3kg 処理 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	28日	圃場A:0.08 (3回、28日)
水稻 (玄米)	2	10%水和剤	200g/種子3kg 処理 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	28, 42日	圃場A:0.16 (3回、28日) 圃場B:0.09 (3回、28日)
稲 (玄米)	2	20%顆粒水和剤	50倍 250mL/箱 苗箱灌注	1回	120日	圃場A:<0.01 (1回、120日) (#) 圃場B:<0.01 (1回、120日) (#)
稲 (稲わら)	2	20%顆粒水和剤	50倍 250mL/箱 苗箱灌注	1回	120日	圃場A:<0.02 (1回、120日) (#) 圃場B:<0.02 (1回、120日) (#)
稲 (玄米)	2	20%顆粒水和剤 +10%水和剤	50倍灌注 0.5L/箱 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	27, 43日 28, 42日	圃場A:0.05 (3回、27日) (#) 圃場B:0.03 (3回、28日) (#)
稲 (稲わら)	2	20%顆粒水和剤 +10%水和剤	50倍灌注 0.5L/箱 +2000倍散布 150L/10a	1+2回	27, 43日 28, 42日	圃場A:0.08 (3回、27日) (#) 圃場B:0.02 (3回、28日) (#)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +50%顆粒水和剤	80g/箱 箱施用 +5000倍散布 150L/10a	1+2回	7, 14, 21, 28日 7, 14, 20, 29日	圃場A:0.22 (3回、14日) (#) 圃場B:0.31 (3回、14日) (#)
稲 (稲わら)	2	20%顆粒水和剤 +10%水和剤	80g/箱 箱施用 +5000倍散布 150L/10a	1+2回	7, 14, 21, 28日 7, 14, 20, 29日	圃場A:3.39 (3回、7日) (#) 圃場B:1.38 (3回、7日) (#)
稲 (玄米)	2	50%顆粒水和剤	125倍 250mL/箱 苗箱灌注 +5000倍散布 150L/10a	1+2回	7, 14, 21, 28日 7, 14, 20, 29日	圃場A:0.26 (3回、14日) (#) 圃場B:0.28 (3回、14日) (#)
稲 (稲わら)	2	50%顆粒水和剤	125倍 250mL/箱 苗箱灌注 +5000倍散布 150L/10a	1+2回	7, 14, 21, 28日 7, 14, 20, 29日	圃場A:2.96 (3回、7日) (#) 圃場B:1.36 (3回、7日) (#)
稲 (玄米)	2	2%粒剤 +1%粒剤	80g/箱 箱施用 +3kg/10a 散布	1+2回	35, 49, 56日 38日	圃場A:0.02 (3回、35日) 圃場B:0.02 (3回、38日)
稲 (稲わら)	2	2%粒剤 +1%粒剤	80g/箱 箱施用 +3kg/10a 散布	1+2回	35, 49, 56日 38日	圃場A:0.56 (3回、35日) 圃場B:0.12 (3回、38日)
小麦 (玄麦)	2	10%水和剤 +50%顆粒水和剤	種子重量の0.15% は種前塗沫処理 +15000倍散布 200, 150L/10a	1+2回	21, 28日	圃場A:0.013 (3回、21日) (#) 圃場B:<0.005 (3回、21日)
小麦 (玄麦)	2	10%水和剤 +50%顆粒水和剤	種子重量の0.15% は種前塗沫処理 +10000倍散布 200, 150L/10a	1+2回	21, 28日	圃場A:0.016 (3回、21日) (#) 圃場B:<0.005 (3回、21日) (#)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
とうもろこし (乾燥種子)	2	20%フロアブル	100cc/種子 3kg 種子塗沫 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
とうもろこし (生食用子実)	2	20%フロアブル	100cc/種子 3kg 種子塗沫 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
とうもろこし (脱穀種子)	2	20%フロアブル	100mL/種子 3kg 種子塗沫 +60倍無人ヘリ散布 3L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
とうもろこし (生食用子実)	2	20%フロアブル	100mL/種子 3kg 種子塗沫 +60倍無人ヘリ散布 3L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	3kg/10a 播種時播溝処理 +4000倍散布 200L/10a	1+2回	28, 42日	圃場A:0.01 (3回、28日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、28日) (#)
あずき (乾燥子実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	4kg/10a 播種時播溝処理 +5000倍散布 150L/10a	1+2回	28日	圃場A:0.05 (3回、28日) (#) 圃場B:0.04 (3回、28日) (#)
らつかせい (乾燥子実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	3kg/10a 播種時播溝処理 +10000倍散布 200L/10a	1+2回	28, 42日	圃場A:<0.05 (3回、28日) 圃場B:<0.05 (3回、28日)
ばれいしょ (塊茎)	2	70%水和剤 +10%水和剤	100g/水1L/いも200kg 種いも処理 +1000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:0.186 (3回、14日) (#) 圃場B:0.020 (3回、14日) (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	1%粒剤 +10%水和剤	4kg/10a 播種時播溝処理 +1000倍散布 200L/10a	1+3回	14, 21日	圃場A:0.02 (3回、14日) (#) 圃場B:0.02 (3回、21日) (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	10%水和剤	15倍無人ヘリ散布 3L/10a	2回	14, 21日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
ばれいしょ (塊茎)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:<0.02 圃場B:<0.02
ばれいしょ (塊茎)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	4kg/10a 植付時植溝土壌混和 +5000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:0.02 (3回、21日) 圃場B:<0.01
さといも (球茎)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	4kg/10a 定植時植溝土壌混和 +4000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
かんしょ (塊根)	2	50%顆粒水和剤	10000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
かんしょ (塊根)	2	50%顆粒水和剤	10000倍株元土壌灌注 800L/10a +10000倍散布 300L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.01 (3回、7日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、7日) (#)
やまのいも (塊茎)	2	1%粒剤 +10%水和剤	4kg/10a 定植時植溝土壌混和 +200倍散布 300L/10a	1+2回	14, 21, 28日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
やまのいも (むかご)	2	1%粒剤	4kg/10a 植付時植溝土壌混和	1回	210日 140日	圃場A:0.06 (1回、210日) 圃場B:<0.05 (1回、140日)
こんにやくいも (球茎)	2	1%粒剤	6kg/10a 培土時土壌混和 +6kg/10a 散布	1+1回	21, 30日	圃場A:<0.01 (2回、21日) (#) 圃場B:0.02 (2回、21日) (#)
てんさい (根部)	2	10%水和剤	100g/6L/6冊/10a 苗箱灌注 +1000倍散布 200L/10a	1+2回	21, 28日	圃場A:<0.01 (3回、21日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、21日) (#)
てんさい (根部)	2	70%原末 +10%水和剤	130g/Unit コート種子処理 +1000倍散布 200L/10a	1+2回	21, 28日	圃場A:<0.01 (3回、21日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、21日) (#)
てんさい (根部)	2	50%顆粒水和剤	300倍灌注 1L/冊 +5000倍散布 200L/10a	1+2回	21日	圃場A:<0.01 (3回、21日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、21日) (#)
だいこん (根部)	2	1%粒剤	6kg/10a 播種時土壌混和	1回	42, 57日 57, 67日	圃場A:0.014 (1回、42日) 圃場B:0.011 (1回、67日)
だいこん (葉部)	2	1%粒剤	6kg/10a 播種時土壌混和	1回	42, 57日 57, 67日	圃場A:0.013 (1回、42日) 圃場B:0.022 (1回、57日)
だいこん (根部)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	6kg/10a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	6kg/10a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:0.20 圃場B:0.01
はくさい (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.06 (2回、7日) (#) 圃場B:0.11 (2回、7日) (#)
はくさい (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.06 圃場B:0.06
はくさい (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	1g/株 定植時土壌混和 +2000倍散布 200, 230. 4L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:0.05 (3回、7日) (#) 圃場B:0.13 (3回、7日) (#)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.04 (2回、7日) (#) 圃場B:0.21 (2回、7日) (#)
キャベツ (葉球)	1	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	7, 14日	圃場A:0.02 (3回、7日) (#)
キャベツ (葉球)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	0.5g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 300L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:0.16 (3回、7日) (#) 圃場B:0.05 (3回、7日) (#)
キャベツ (葉球)	2	20%フロアブル	200倍 0.5L/トレイ 定植時苗灌注 +2000倍散布 300L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:0.20 (3回、7日) (#) 圃場B:0.07 (3回、7日) (#)
芽キャベツ (芽球)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:<0.2 圃場B:<0.2
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A:1.36 (1回、3日) 圃場B:2.39 (1回、3日)
みずな (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.30 圃場B:2.20
ブロッコリー (花蕾)	2	20%フロアブル +1%粒剤 +20%フロアブル	20倍 0.5L/トレイ 定植時苗灌注 +0.5g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 150、300L/10a	1+1 +2回	3, 7, 14日	圃場A:0.28 (4回、3日) (#) 圃場B:1.94 (4回、3日) (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150、300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.40 圃場B:2.30
非結球芽キャベツ (本葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.2 圃場B:<0.2
非結球芽キャベツ (えき芽葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.5 圃場B:<0.2
畑わさび (葉柄+根茎)	1	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.04
畑わさび (葉+葉柄+根茎)	1	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.25
畑わさび (葉+葉柄+根茎)	3	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.38 圃場B:0.38 圃場C:0.75
わさび (花+花茎)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:2.30 (#) 圃場B:0.74 (#)
わさび (葉+葉柄)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:1.37 (#) 圃場B:0.27 (#)
わさび (根+根茎)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.2 (#) 圃場B:0.06 (#)
なばな (花茎)	2	50%顆粒水和剤	10000倍散布 250L/10a	2回	7, 14日	圃場A:1.61 圃場B:0.46
ごぼう (根部)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 105-150, 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.08 (2回、7日) (#) 圃場B:0.10 (2回、14日) (#)
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 105-150, 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.09 圃場B:0.08 (2回、14日)
レタス (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	0.5g/株 定植時土壌混和 +4000倍散布 200, 230L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.46 圃場B:0.17
レタス (茎葉)	2	20%フロアブル	200倍 0.5L/トレイ 定植時苗灌注 +4000倍散布 200, 230L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.47 (3回、7日) (#) 圃場B:0.19 (3回、7日) (#)
サラダ菜 (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.4 圃場B:0.2 (2回、14日)
リーフレタス (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.8 圃場B:0.2
エンダイブ (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200, 303-560.6L/10a	2回	7, 14日	圃場A:2.26 圃場B:2.21 (2回、7日) (#)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
食用ぎく (花卉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 250-300L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.67 圃場B:0.28
食用ぎく (花卉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 250-300L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.72 圃場B:0.44
きく (葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	14, 21日	圃場A:0.29 圃場B:0.22
ふき (茎)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.12 圃場B:0.08
葉ごぼう (可食部)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.60 圃場B:1.14
すいぜんじな (茎葉)	2	50%顆粒水和剤	10000倍散布 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.4 圃場B:2.6
たまねぎ (鱗茎)	2	50%顆粒水和剤	5000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
たまねぎ (鱗茎)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	4kg/10a 定植時土壌混和 +5000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
根深ねぎ (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	4kg/10a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:0.16 圃場B:<0.01
葉ねぎ (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	4kg/10a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:0.04 圃場B:0.22
にら (茎葉)	2	1%粒剤	4kg/10a 定植時植溝土壌混和 +4kg/10a 散布	1+1回	30, 45, 60日	圃場A:<0.4 圃場B:<0.4
アスパラガス (若茎)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.14 (2回、1日) (#) 圃場B:0.30 (2回、1日) (#)
わけぎ (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	4kg/10a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 300L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:0.7 圃場B:1.0
にんじん (根部)	2	50%顆粒水和剤	10000倍散布 200, 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:<0.01 圃場B:0.02
パセリ (茎葉)	1	1%粒剤	0.5g/株 定植時植穴処理	1回	50, 60, 75日	圃場A:0.16 (1回、50日)
パセリ (茎葉)	1	1%粒剤	0.5g/株 定植時植穴処理	1回	49, 60, 75日	圃場A:0.36 (1回、49日)
パセリ (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	0.5g/株 定植時植溝土壌混和 +4000倍散布 200L/10a	1+1回	14, 21日	圃場A:1.4 圃場B:1.3
セルリー (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.30 圃場B:0.68
みつば (茎葉)	1	50%顆粒水和剤	10000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.77
みつば (茎葉)	1	50%顆粒水和剤	10000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.50
はまぼうふう (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.18 圃場B:0.10
トマト (果実)	3	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.04 圃場B:0.12 (3回、7日) 圃場C:0.14
トマト (果実)	1	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+1回	1, 3, 7日	圃場A:0.08 (2回、3日)
トマト (果実)	1	10%水和剤	2000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:0.06 (1回、1日)
トマト (果実)	1	10%水和剤	2000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.08 (2回、3日)
トマト (果実)	1	10%水和剤	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.15
トマト (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +10000倍散布 250, 257L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.13
トマト (果実)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 300L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.26 (3回、1日) (#) 圃場B:0.13 (3回、3日) (#)

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ミニトマト (果実)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 200, 300L/10a	1+2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.24 (3回、7日) (#) 圃場B:0.52 (3回、14日) (#)
ピーマン (果実)	2	1%粒剤	2g/株 定植時植穴処理	1回	46, 61日 52, 62日	圃場A:0.08 (1回、61日) 圃場B:0.01 (1回、52日)
ピーマン (果実)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	1, 3日	圃場A:1.20 圃場B:0.60 (3回、3日)
ピーマン (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +5000倍散布 150, 200L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.8 圃場B:0.8
なす (果実)	2	1%粒剤	2g/株 定植時植穴処理	1回	47, 57日 65, 75日	圃場A:<0.005 (1回、47日) 圃場B:<0.005 (1回、65日)
なす (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	1, 3日	圃場A:0.121 圃場B:0.078
なす (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +100g/5L/10a 常温煙霧処理	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.04 圃場B:0.12
ししとう (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300, 120L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:1.6 (3回、1日) (#) 圃場B:1.2 (3回、1日) (#)
伏見甘長とうがらし (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300, 289.4L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:1.2 (3回、3日) (#) 圃場B:1.5 (3回、1日) (#)
きゅうり (果実)	2	1%粒剤	2g/株 定植時植穴処理	1回	41, 51日 38, 48日	圃場A:0.010 (1回、41日) 圃場B:<0.005 (1回、38日)
きゅうり (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+3回	1, 3日	圃場A:0.18 圃場B:0.12
きゅうり (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +100g/5L/10a 常温煙霧処理	1+3回	1, 3日 1, 3, 7日	圃場A:0.04 圃場B:0.04
きゅうり (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴処理 +10000倍散布 250L/10a	1+5回 1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.08(6回、3日) (#) 圃場B:0.20
きゅうり (果実)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 150-200, 300L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.42 (4回、1日) (#) 圃場B:0.16 (4回、1日) (#)
かぼちゃ (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 188.9, 200L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.02 圃場B:0.04
かぼちゃ (果実)	1	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴土壌混和 +4000倍散布 300L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.09
かぼちゃ (果実)	1	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴土壌混和 +4000倍散布 300L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.10
すいか (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	10g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+4回 1+3回	3, 7日	圃場A:<0.01 (5回、3日) (#) 圃場B:0.04 (4回、3日) (#)
すいか (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	10g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A:0.11(3回、3日) (#) 圃場B:0.02(3回、3日) (#)
メロン (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 200L/10a	1+3回	3, 7日	圃場A:0.01(3回、7日) 圃場B:0.01
メロン (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 250L/10a	1+3回	3, 7日	圃場A:0.03 圃場B:0.03
メロン (果実)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300, 250L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A:0.03 圃場B:0.03(4回、7日)
メロン (果実)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	2g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 300L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
まくわうり (果実)	2	1%粒剤	1g/株 定植時植穴土壌混和	1回	70, 80, 90日	圃場A:<0.02 (1回、70日) 圃場B:<0.02 (1回、70日)
にがうり (可食部)	2	10%水和剤	1000倍散布 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.47 (2回、1日) (#) 圃場B:0.85 (2回、3日) (#)
にがうり (可食部)	2	10%水和剤	2000倍散布 250L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.16 圃場B:0.42
ほうれんそう (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.03 圃場B:0.17



農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
オクラ (さや)	2	20%フロアブル	4000倍散布 186-189L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.18 圃場B:0.18
オクラ (さや)	2	20%フロアブル	4000倍散布 132-189L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.12 圃場B:0.21
オクラ (さや)	1	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:0.16
さやいんげん (さや)	2	1%粒剤	2g/株 定植時植穴処理	1回	48, 67日 64, 74日	圃場A:0.01 (1回、48日) 圃場B:0.05 (1回、64日)
さやいんげん (さや)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 100, 300L/10a	1+2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.18 圃場B:0.30
さやえんどう (さや)	2	1%粒剤	2g/株 定植時植穴土壌混和	1回	117, 123, 130日 100, 106, 113日	圃場A:0.06 (1回、117日) 圃場B:<0.05 (1回、100日)
さやえんどう (さや)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 300L/10a	1+2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.20 圃場B:0.14
未成熟だいず (えだまめ)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	3kg/10a 播種時播溝処理 +4000倍散布 200L/10a	1+2回	7, 14日 7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:0.16
未成熟だいず (えだまめ)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	2g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 200L/10a	1+2回	14日	圃場A:0.10 圃場B:0.16
未成熟ささげ (さや)	2	1%粒剤	2g/株 播種時植穴土壌混和	1回	61, 67, 74日 85, 92, 99日	圃場A:<0.05 (1回、61日) 圃場B:<0.05 (1回、85日)
未成熟そらまめ (可食部)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	3回	7, 14日	圃場A:0.11 圃場B:0.20
れんこん (可食部)	2	0.25%粒剤	4kg/10a 散布	2回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
れんこん (可食部)	2	1%粒剤 +0.25%粉剤	3kg/10a 植付時作条土壌混和 +4kg/10a 散布	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
れんこん (可食部)	1	1%粒剤 +20%フロアブル	3kg/10a 植付時作条土壌混和 +4000倍散布 150L/10a	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01
れんこん (可食部)	1	1%粒剤	6kg/10a 植付時作条土壌混和 +6kg/10a 散布	1+2回	14, 21日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#)
モロヘイヤ (可食部)	2	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	1回	14日	圃場A:0.4 圃場B:1.0
ふだんそう (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A:1.70 圃場B:2.01
食用さくら (葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	1回	3, 7, 14日	圃場A:0.80 圃場B:0.36
さといも (葉柄)	2	50%顆粒水和剤	10000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.48 (2回、3日) 圃場B:0.30 (2回、3日)
さといも (葉柄)	2	1%粒剤 +50%顆粒水和剤	4kg/10a 植付時植溝土壌混和 +10000倍散布 200L/10a	1+2回	1, 3, 7日	圃場A:0.10 圃場B:0.24
くわい (塊茎)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	3回	21, 30, 42日 21, 28, 43日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
食用ブリンラ (花器全体)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.23 圃場B:0.18
じゅんさい (葉)	1	1%粒剤	3kg/10a 散布	1回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.06
じゅんさい (葉)	1	1%粒剤	3kg/10a 散布	1回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.16 (1回、3日)
うど (軟化茎葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	3回	60日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
ヤングコーン (幼果・雌穂)	2	20%フロアブル	4000倍散布 100~150L/10a	2回	6, 14, 20日 3, 7, 14, 21日	圃場A:<0.01 (2回、6日) 圃場B:<0.01

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
温州みかん (果肉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 700, 500L/10a	3回	14, 30, 45日	圃場A:0.02 圃場B:0.06
温州みかん (果皮)	2	20%フロアブル	2000倍散布 700, 500L/10a	3回	14, 30, 45日	圃場A:1.08 圃場B:2.28
温州みかん (果肉)	2	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#) 圃場B:<0.01 (3回、14日) (#)
温州みかん (果皮)	2	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:0.24 (3回、14日) (#) 圃場B:0.22 (3回、14日) (#)
夏みかん (果肉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	3回	14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
夏みかん (果皮)	2	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	3回	14, 21日	圃場A:0.43 圃場B:0.66
夏みかん (果実全体)	2	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	3回	14, 21日	圃場A:0.15 圃場B:0.25 (3回、21日)
夏みかん (果肉)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#)
夏みかん (果皮)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:0.19 (3回、14日) (#)
夏みかん (果実全体)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:0.06 (3回、14日) (#)
いよかん (果肉)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:<0.01 (3回、14日) (#)
いよかん (果皮)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:0.22 (3回、14日) (#)
いよかん (果実全体)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:0.07 (3回、14日) (#)
すだち (果実)	1	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.03
すだち (果実)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	14日	圃場A:0.15 (3回、14日) (#)
かぼす (果実)	1	20%フロアブル	2000倍散布 250L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.26
かぼす (果実)	1	20%フロアブル	10倍無人ヘリ散布 2.5L/10a	3回	15日	圃場A:0.05 (3回、14日) (#)
りんご (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500L/10a	2回	21, 30, 45日	圃場A:0.120 (2回、30日) 圃場B:0.029 (2回、21日)
りんご (果実)	2	50%顆粒水和剤	5000倍散布 600L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.20 圃場B:0.12
なし (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	30, 37日 30, 45日	圃場A:0.197 (2回、30日) 圃場B:0.060 (2回、30日)
なし (果実)	2	20%フロアブル	2500倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.14 (2回、14日) (#) 圃場B:0.19 (2回、14日) (#)
なし (果実)	2	20%フロアブル	5000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.08 (2回、14日) 圃場B:0.06 (2回、14日)
なし (果実)	2	50%顆粒水和剤	5000倍散布 400L/10a	2回	28, 42日	圃場A:0.13 (2回、28日) 圃場B:0.12 (2回、28日)
なし (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 350, 400L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.15 (2回、3日) (#) 圃場B:0.20 (2回、3日) (#)
びわ (果実 (有袋))	1	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.02
びわ (果実 (有袋))	1	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.04
びわ (果実 (無袋))	1	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.54
びわ (果実 (有袋))	1	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.18
びわ (果実 (無袋))	1	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.19 (2回、14日)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
もも (果肉)	2	10%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	30, 45日	圃場A:0.195 (2回、30日) 圃場B:0.140 (2回、30日)
もも (果皮)	2	10%水和剤	1000倍散布 400L/10a	2回	30, 45日	圃場A:0.593 (2回、30日) 圃場B:0.388 (2回、30日)
もも (果肉)	2	20%フロアブル	2500倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.12 (2回、14日) (#) 圃場B:0.11 (2回、14日) (#)
もも (果皮)	2	20%フロアブル	2500倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.53 (2回、14日) (#) 圃場B:0.70 (2回、14日) (#)
もも (果肉)	2	20%フロアブル	5000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.06 (2回、14日) 圃場B:0.07 (2回、14日)
もも (果皮)	2	20%フロアブル	5000倍散布 300L/10a	2回	14, 21, 28日	圃場A:0.26 (2回、14日) 圃場B:0.30 (2回、14日)
もも (果肉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.16 (2回、3日) (#) 圃場B:0.14 (2回、3日) (#)
もも (果皮)	2	20%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.2 (2回、3日) (#) 圃場B:2.2 (2回、3日) (#)
ネクタリン (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 15L/樹, 700L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.28 圃場B:0.18 (2回、21日)
あんず (果実)	2	20%フロアブル	5000倍散布 400, 300L/10a	2回	7, 11, 18日 7, 14, 21日	圃場A:0.29 圃場B:0.17
すもも (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 300, 400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.07 (2回、21日) (#) 圃場B:<0.01 (2回、21日) (#)
すもも (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 300, 400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.04 圃場B:<0.01
うめ (果実)	2	10%水和剤	2000倍散布 300, 400L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.07 圃場B:0.06
いちご (果実)	2	1%粒剤	1g/株 定植時植穴処理	1回	105, 113日 150, 160日	圃場A:0.01 (1回、105日) (#) 圃場B:0.03 (1回、150日) (#)
いちご (果実)	2	1%粒剤 +10%水和剤	1g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200L/10a	1+2回	3日	圃場A:0.81 (#) 圃場B:0.18 (#)
ぶどう (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 300L/10a	2回	21, 30日	圃場A:1.338 圃場B:0.256
ぶどう (果実)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.16 (2回、28日) (#) 圃場B:0.28 (2回、21日) (#)
ぶどう (果実)	4	20%フロアブル	5000倍散布 300, 300, 500, 300L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.26 圃場B:0.06 (2回、28日) 圃場C:0.76 圃場D:0.72
ぶどう (果実)	2	20%フロアブル	4000倍散布 300L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.59 (2回、28日) (#) 圃場B:0.74 (2回、21日) (#)
ぶどう (果実)	2	10%水和剤	50倍常温煙霧 10L/10a	2回	21, 30, 45日	圃場A:0.08 (2回、21日) (#) 圃場B:0.08 (2回、30日) (#)
ぶどう (果実)	2	10%水和剤	50倍常温煙霧 10L/10a	2回	21, 30, 45日	圃場A:0.06 (2回、21日) (#) 圃場B:0.12 (2回、21日) (#)
ぶどう (果実)	2	50%顆粒水和剤	5000倍散布 300L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.78 圃場B:0.41 (2回、28日)
かき (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 500L/10a	3回	7, 14, 21日 7, 15, 21日	圃場A:0.35 (3回、21日) 圃場B:0.28
キウイフルーツ (果肉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 278, 300L/10a	2回	1, 7, 14, 21日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
マンゴー (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 450L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.49 (2回、14日) (#) 圃場B:0.45 (2回、14日) (#)
パッションフルーツ (果実)	2	50%顆粒水和剤	10000倍散布 250, 625L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.15 圃場B:0.28

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【イミダクロプリド】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アセロラ (果実)	2	20%フロアブル	4000倍散布 500, 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.18 (2回、7日) (#) 圃場B:0.30 (2回、7日) (#)
ピタヤ (果実)	2	20%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.26 圃場B:0.11
アテモヤ (果実)	1	50%顆粒水和剤	10000倍散布 270L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.18
アテモヤ (果実)	1	50%顆粒水和剤	10000倍散布 300L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.02
くり (果実)	2	10%水和剤	1000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日 7, 13, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
いちよう (種子・ぎんなん)	1	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:<0.005 (#)
いちよう (種子・ぎんなん)	1	20%フロアブル	2000倍散布 300L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:0.01 (#)
茶 (荒茶)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	1回	13, 20, 27日 14, 21, 28日	圃場A:2.30 (1回、13日) 圃場B:1.92 (1回、14日)
茶 (浸出液)	2	10%水和剤	1000倍散布 200L/10a	1回	13, 20, 27日 14, 21, 28日	圃場A:1.85 (1回、13日) 圃場B:1.90 (1回、14日)
茶 (荒茶)	2	50%顆粒水和剤	5000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:3.84 圃場B:3.98
茶 (浸出液)	2	50%顆粒水和剤	5000倍散布 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:2.53 圃場B:3.31
コリアンダー (茎葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150, 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.49 圃場B:1.07
あさつき (茎葉)	2	1%粒剤 +20%フロアブル	4kg/10a 定植時植溝処理土壌混和 +2000倍散布 300L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:2.4 圃場B:1.4
しそ (葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 200L/10a	1回	7, 10, 14, 21日	圃場A:0.70 圃場B:0.28
しそ (花穂)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.68 圃場B:0.18
みょうが (花穂)	1	50%顆粒水和剤	10000倍散布 350L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.02
みょうが (花穂)	1	50%顆粒水和剤	10000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:<0.04
さんしょう (葉)	2	20%フロアブル	4000倍散布 150L/10a	3回	183日 196日	圃場A:<0.1 圃場B:<0.1

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「イミダクロプリド」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	【6-CNA法】(*)
大豆 (子実)	3	48.7%フロアブル	10.0 oz. ai/cwt(100ポンド種子) (6.25 g ai/kg種子) 種子塗沫	1	115	圃場A: 0.47 (#)
					176	圃場B: 0.16 (#)
					104	圃場C: 0.51 (#)
大豆 (子実)	21	480g/Lフロアブル	0.25 lb ai/cwt(2.50g ai/kg種子)、種子塗沫 + 0.047lb. ai/A(0.053 kg ai/ha)、散布	1+3 (計4)	19	圃場A: 0.249 (#)
					20	圃場B: 0.411 (#)
					21	圃場C: 0.712 (#)
					21	圃場D: 0.429 (#)
					19	圃場E: 0.194 (#)
					20	圃場F: 0.148 (#)
					21	圃場G: 0.203 (#)
					20	圃場H: 0.455 (#)
					19	圃場I: 0.517 (#)
					19	圃場J: 0.645 (#)
					21	圃場K: 2.04 (#)
					20	圃場L: 0.652 (#)
					21	圃場M: 0.734 (#)
					32	圃場N: 0.029 (#)
					21	圃場O: 1.60 (#)
					21	圃場P: 0.665 (#)
					21	圃場Q: 0.065 (#)
					25	圃場R: 0.069 (#)
					25	圃場S: 0.093 (#)
					7, 14, 21, 28, 34	圃場T: 0.54 (21日) (#)
8, 14, 20, 27, 34	圃場U: 0.041 (8日) (#)					
いんげん (子実)	11	40.7%フロアブル +21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	4.0 oz ai/cwt(2.50 g ai/kg種子)、種子塗沫 +0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+1+3	7	圃場A: 0.766 (#)
					8	圃場B: 0.269 (#)
					7	圃場C: 0.229 (#)
					7	圃場D: 1.120 (#)
					6	圃場E: 0.698 (#)
					6	圃場F: 0.762 (#)
					7	圃場I: 0.890 (#)
					8	圃場J: 0.350 (#)
					8	圃場L: 0.516 (#)
					40.7%フロアブル +21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	4.0 oz ai/cwt(2.50 g ai/kg種子)、種子塗沫 +0.108 lb. ai/A(0.12 mg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布
7	圃場H: 0.133 (#)					
未成熟いんげん (さや)	6	40.7%フロアブル +21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	4.0 oz ai/cwt(2.50 g ai/kg種子)、種子塗沫 +0.375 lb. ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+1+2	6	圃場A: <0.05 (#)
					7	圃場B: 0.42 (#)
					0, 3, 7, 13	圃場C: 0.65 (7日) (#)
					7	圃場D: 0.89 (#)
					6	圃場E: 0.26 (#)
7	圃場F: 0.59 (#)					
えんどう (子実)	6	40.7%フロアブル +21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	4.0 oz ai/cwt(2.50g ai/kg種子)、種子塗沫 +0.375lb. ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、茎葉散布	1+1+3	8	圃場A: 0.138 (#)
					8	圃場B: 0.322 (#)
					3, 7, 13	圃場C: 1.030 (13日) (#)
					7	圃場D: 0.905 (#)
					7	圃場E: 0.940 (#)
7	圃場F: 0.196 (#)					

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	【6-CNA法】(*)
えんどう (多汁子実)	6	40.7%フロアブル +21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	4.0 oz ai/cwt(2.50g ai/kg種子)、種子塗沫 +0.375lb.ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+1+3	7	圃場A: 0.538 (#)
					6	圃場B: 0.424 (#)
					7	圃場C: 0.311 (#)
					7	圃場D: 0.877 (#)
					8	圃場E: 0.620 (#)
					3, 7, 14	圃場F: 1.060 (7日) (#)
えんどう (食用さや)	4	40.7%フロアブル +21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	4.0 oz ai/cwt(2.50g ai/kg種子)、種子塗沫 +0.375lb.ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+1+3	7	圃場A: 0.195 (#)
					6	圃場B: 3.849 (#)
					3, 7, 14	圃場C: 0.922 (7日) (#)
					7	圃場D: 0.267 (#)
にんじん (根部)	6	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+3	7	圃場A: 0.0896(畝処理量: 0.630 lb ai/A) (#)
					7	圃場B: <0.05 (散布: 4回、合計: 5回) (#)
					7	圃場C: <0.05
					7	圃場D: <0.05
					7	圃場E: <0.05
					7	圃場F: <0.05
にんじん(葉部)	6	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+3	7	圃場A: 1.882(畝処理量: 0.630 lb ai/A) (#)
					7	圃場B: 1.354 (散布: 4回、合計: 5回) (#)
					7	圃場C: 1.940
					7	圃場D: 4.462
					7	圃場E: 3.863
					7	圃場E: 1.513
ビート [カエンサイ] (根部)	5	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+3	6	圃場A: 0.262
					8	圃場B: 0.352
					7	圃場C: 0.300
					8	圃場D: <0.100
					7	圃場E: <0.100
ビート [カエンサイ] (葉部)	5	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+3	6	圃場A: 2.84
					8	圃場B: 1.40
					7	圃場C: 3.78
					8	圃場D: 2.99
					7	圃場E: 3.14
ラディッシュ (根部)	4	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+1	7	圃場A: <0.05(畝処理量: 0.612lb ai/A) (#)
					7	圃場B: 0.130
					7	圃場C: <0.05
					3, 7, 12	圃場D: <0.05 (7日) (#)
ラディッシュ (葉部)	4	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha)、畝処理 +0.044 lb ai/A(0.05 kg ai/ha)、散布	1+1	7	圃場A: 1.801 (畝処理量: 0.612lb ai/A) (#)
					7	圃場B: 2.744
					7	圃場C: 0.702
					3, 7, 12	圃場D: 0.534 (7日)

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【6-CNA法】 (*)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	19	2.5%粒剤 +240g/17ロアブル	4.2~5.7 oz ai/A (0.294~0.399kg ai/ha, 0.03g ai/m(列))、植付時畝処理 +0.70~0.74 oz ai/A(0.049~0.052kg ai/ha)、 散布	1+4	7, 14, 21, 28	圃場A : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場B : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場C : 0.28 (14日)
					7, 14, 21, 28	圃場D : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場E : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場F : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場G : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場H : 0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場I : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場J : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場K : 0.07 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場L : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場M : 0.13 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場N : <0.05 (7日)
					7, 14, 21, 28	圃場O : 0.05 (14日)
7, 14, 21, 28	圃場P : 0.05 (14日)					
7, 14, 21, 28	圃場Q : <0.05 (7日)					
7, 14, 21, 28	圃場R : <0.05 (7日)					
7, 14, 21, 28	圃場S : 0.16 (7日)					
ばれいしょ (塊茎)	3	2%粉剤	0.25 lb ai/A (0.28 kg ai/ha) 、 植付前粉衣	1	71	圃場A : 0.100
ばれいしょ (塊茎)	3	21.4%フロアブル	0.29~0.30 lb ai/A (0.325~0.336kg ai/ha) 、 畝処理	1	133	圃場B : 0.134
					111	圃場C : 0.079
					71	圃場A : 0.070
ほうれんそう	2	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 、播溝処理 +0.1 lb ai/A (0.112 kg ai/ha) 、散布	1+2	133	圃場B : 0.019
					111	圃場C : 0.184
					0, 6, 13	圃場A : 4.82 (6日) (#)
レタス (茎葉) (外葉有り)	12	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 +0.1 lb ai/A (0.112 kg ai/ha) 、散布	1+2	0, 7, 14	圃場B : 2.84 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場A : 1.68 (7日)
					0, 7, 14	圃場B : 0.59 (7日)
					0, 7, 14	圃場C : 0.67 (7日)
					0, 7, 14	圃場D : 2.13 (7日)
					0, 7, 14	圃場E : 0.67 (7日)
					0, 7, 14	圃場F : 0.32 (7日)
					0, 7, 14	圃場G : 0.60 (7日)
					0, 7, 14	圃場H : 0.60 (7日)
					0, 7, 14	圃場I : 0.57 (7日)
					0, 7, 14	圃場J : 0.73 (7日)
					0, 7, 14	圃場K : 0.31 (7日)
0, 7, 14	圃場L : 0.85 (7日)					
レタス (茎葉) (外葉有り)	7	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壤灌注 又は 側条処理	1	29	圃場A : 0.39
					40	圃場B : <0.05
					94	圃場C : <0.05
					77	圃場D : 0.15
					133	圃場E : <0.05
					27	圃場F : 0.13
					91	圃場G : <0.05

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	【6-CNA法】(*)
レタス (茎葉) (外葉無し)	12	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壌灌注 +0.1 lb ai/A (0.112 kg ai/ha)、散布	1+2	0, 7, 14	圃場A: 0.72 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場B: 0.15 (14日) (#)
					0, 7, 14	圃場C: 0.15 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場D: 0.58 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場E: 0.08 (14日) (#)
					0, 7, 14	圃場F: 0.07 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場G: 0.12 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場H: 0.38 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場I: 0.20 (14日) (#)
					0, 7, 14	圃場J: 0.16 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場K: 0.10 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場L: 0.12 (7日) (#)
レタス (茎葉) (外葉無し)	7	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壌灌注 又は 側条処理	1	29	圃場A: 0.09
					40	圃場B: <0.05
					94	圃場C: <0.05
					77	圃場D: <0.05
					133	圃場E: <0.05
					27	圃場F: 0.05
					91	圃場G: <0.05
リーフレタス (茎葉)	12	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壌灌注 +0.1 lb ai/A (0.112 kg ai/ha)、散布	1+2	0, 7, 14	圃場A: 2.49 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場B: 1.46 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場C: 2.25 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場D: 2.18 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場E: 0.10 (14日) (#)
					0, 7, 14	圃場F: 1.24 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場G: 1.47 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場H: 0.92 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場I: 0.95 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場J: 0.54 (7日) (#)
					0, 7, 14	圃場K: 2.61 (14日) (#)
リーフレタス (茎葉)	10	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壌灌注 又は 側条処理	1	36	圃場A: 0.68
					13	圃場B: 2.06
					43	圃場C: 0.56
					39	圃場D: 0.18
					68	圃場E: 0.80
					63	圃場F: 0.31
					85	圃場G: 0.35
					27	圃場H: 0.93
					12	圃場I: 0.71
					43	圃場J: 0.05



農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【6-CNA法】(*)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	
セロリ (茎葉)	6	21.4%フロアブル	0.50 lb ai/A (0.56 kg ai/ha)、灌注	1	46	圃場A: 4.31 (#)
					43	圃場B: 0.42 (#)
					45	圃場C: 0.13 (#)
					43	圃場D: 0.13 (#)
					45	圃場E: 0.57 (#)
					46	圃場F: 1.00 (#)
セロリ (茎葉)	3	21.4%フロアブル	0.50 lb ai/A (0.56 kg ai/ha)、側条施用	1	45	圃場A: 2.83 (#)
					43	圃場B: 0.78 (#)
					45	圃場C: 5.62 (#)
セロリ (茎葉)	3	21.4%フロアブル	0.50 lb ai/A (0.56 kg ai/ha)、畝処理	1	97	圃場A: 1.24 (#)
					81	圃場B: 0.38 (#)
					103	圃場C: 1.36 (#)
アーティチョーク (茎葉)	3	21.4%フロアブル	0.25 lb ai/A (0.28 kg ai/ha)、散布	2	7	圃場A: 1.638 圃場B: 1.060 圃場C: 1.886
りんご (果実)	8	21.4%フロアブル	0.19 kg ai/ha、散布	5	6, 13, 20, 29	圃場A: 0.17 (6日) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場B: 0.14 (7日) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場C: 0.10 (7日) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場D: 0.18 (7日) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場E: <0.05 (7日) (使用量: 0.14 kg ai/ha) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場F: <0.05 (7日) (使用量: 0.07 kg ai/ha)
					7, 14, 21, 30	圃場G: <0.05 (7日) (使用量: 0.023 kg ai/ha) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場H: 0.10 (7日) (#)
りんご (果実)	3	21.4%フロアブル	0.19 kg ai/ha、散布	5	7, 14, 21, 30	圃場A: 0.74 (7日) (#)
					7, 14, 21, 30	圃場B: 0.05 (7日) (使用量: 0.11 kg ai/ha)
					7, 14, 21, 30	圃場C: 0.08 (7日) (使用量: 0.15kg ai/ha) (#)
なし (果実)	7	21.4%フロアブル	0.25 lb ai/A (0.28 kg ai/ha)、散布	2	0, 7, 14, 21	圃場A: 0.33 (21日)
					0, 7, 14, 21	圃場B: 0.53 (14日)
					0, 7, 14, 21	圃場C: 0.40 (14日)
					0, 7, 14, 21	圃場D: 0.33 (7日)
					0, 7, 14, 21	圃場E: 0.25 (21日)
					0, 7, 14, 21	圃場F: 0.50 (7日)
					0, 7, 14, 21	圃場G: 0.27 (7日)
					0, 7, 14, 21	圃場H: 0.27 (7日)
おうとう (酸味) (果実)	4	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A (0.112 kg ai/ha)、散布	5	6	圃場A: 2.544
					0, 3, 7, 14	圃場B: 1.069 (7日)
					7	圃場C: 1.458
					7	圃場D: 0.929
おうとう (甘味) (果実)	8	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A (0.112 kg ai/ha) 散布	5	7	圃場A: 0.342
					7	圃場B: 0.426
					8	圃場C: 0.243
					7	圃場D: 0.596 (6回散布)
					7	圃場E: 0.630 (6回散布)
					7	圃場F: 0.362
					7	圃場G: 0.278
					7	圃場H: 0.615

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【6-CNA法】(*)	
		剤形	使用量・使用方法	回数		経過日数
いちご (果実)	9	21.4%フロアブル +17.4%フロアブル	0.375 lb ai/A(0.42 kg ai/ha) 土壌灌注 +0.044 lb ai/A (0.05kg ai/ha) 散布	1+3	7	圃場A: 0.349
					6	圃場B: 0.138
					7	圃場C: 0.210
					7	圃場D: 0.147
					7	圃場E: 0.316
					0, 4, 7, 14	圃場F: 0.126 (14日)
					6	圃場G: 0.167
					7	圃場H: 0.124
					7	圃場I: 0.166
ラズベリー (果実)	2	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56kg ai/ha) 土壌灌注又は処理	1	7, 14, 28, 42, 56	圃場A: <0.050 (7日)
					7, 14, 28, 42, 56	圃場B: <0.050 (7日)
クランベリー (果実)	5	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56kg ai/ha) 散布後、灌水により薬剤を土壌に移行	1	30, 46	圃場A: <0.050 (30日)
					28, 43	圃場B: <0.050 (28日)
					28, 43	圃場C: <0.050 (28日)
					28, 43	圃場D: <0.050 (28日)
					32, 45	圃場E: <0.050 (32日)
ブルーベリー (果実)	5	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壌表面散布	1	7, 14, 28, 32	圃場A: <0.05 (7日)
					7, 15	圃場B: <0.05 (7日)
					7, 14, 28, 35	圃場C: <0.05 (7日)
					7, 14	圃場D: <0.05 (7日)
					7, 14	圃場E: 0.09 (7日)
ブルーベリー (果実)	7	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A (0.11 kg ai/ha) 散布	5	3	圃場A: 0.49
					3	圃場B: 0.52
					3	圃場C: 0.38
					2	圃場D: 2.219
					2	圃場E: 2.802
					4	圃場F: 0.894
					0, 3, 10, 14	圃場G: 1.125 (3日)
ブラックベリー (果実)	3	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A(0.11 kg ai/ha) 散布	3	2	圃場A: 0.38 (#)
					4	圃場B: 0.69
					2	圃場C: 0.70 (#)
ラズベリー (果実)	4	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A(0.11 kg ai/ha) 散布	3	3	圃場A: 0.59
					3	圃場B: 0.96
					3	圃場C: 0.48
					3	圃場D: 0.49
マリオンベリー (果実)	1	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A(0.11 kg ai/ha) 散布	3	3	圃場A: 1.7
ボイゼンベリー (果実)	1	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A(0.11 kg ai/ha) 散布	3	3	圃場A: 1.5
パパイヤ (果実)	3	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A(0.11 kg ai/ha) 散布	5	5	圃場A: 0.22
					0, 6, 14, 21	圃場B: 0.59 (14日)
					7	圃場C: 0.19
アボカド (果実)	5	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A(0.56 kg ai/ha) 土壌表面散布	1	60, 88, 116	圃場A: <0.050 (60日)
					60	圃場B: <0.050
					59	圃場C: <0.050
					69	圃場D: <0.050
					50	圃場E: <0.050
グアバ (果実)	4	17.4%フロアブル	0.1 lb ai/A(0.11 kg ai/ha) 散布	5	14	圃場A: 0.266
					14	圃場B: 0.126
					15	圃場C: 0.400
					15	圃場D: 0.304

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【6-CNA法】 (*)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ひまわり (種子)	4	40.7%フロアブル	16.8 oz ai/cwt(100ポンド種子)、 (5.25 g ai/kg種子) 種子塗沫	1	129	圃場A : <0.05 (#)
					141	圃場B : <0.05 (#)
					143	圃場C : <0.05 (#)
					119	圃場D : <0.05 (#)
ひまわり (種子)	2	40.7%フロアブル	84.0 oz ai/cwt(26.25 g ai/kg種子)、 種子塗沫	1	131	圃場A : <0.05 (#)
					143	圃場B : <0.05 (#)
綿実 (種子)	6	21.4%フロアブル +21.4%フロアブル +21.4%フロアブル	250g ai/100kg種子 (2.5 g ai/kg種子)、種 子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/A (0.27~0.30 lb ai/A) (0.301~0.336kg ai/ha) 畝処理 +3.8 oz ai/A (0.24 lb ai/A) (0.266kg ai/ha) 散布	1+1+2	7, 14, 21	圃場A : 0.22 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場B : 0.41 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場C : 0.20 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場D : 2.32 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場E : 0.20 (14日) (#)
綿実 (種子)	3	21.4%フロアブル +2.5%粒剤 +21.4%フロアブル	250g ai/100kg種子 (2.5 g ai/kg種子)、種 子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/A (0.27~0.30 lb ai/A) (0.301~0.336kg ai/ha) 畝処理 +3.8 oz ai/A (0.24 lb ai/A) (0.266kg ai/ha) 散布	1+1+2	7, 14, 21	圃場A : 0.18 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場B : 0.36 (14日) (#)
					7, 14, 21	圃場C : 0.17 (21日) (#)
綿実 (種子)	7	21.4%フロアブル +2.5%粒剤 +21.4%フロアブル	250g ai/100kg種子 (2.5 g ai/kg種子)、種 子塗沫 +4.3~4.8 oz ai/A (0.27~0.30 lb ai/A) (0.301~0.336kg ai/ha) 畝処理 +3.8 oz ai/A(0.24 lb ai/A) (0.266kg ai/ha) 散布	1+1+2	8, 15, 22	圃場A : 2.00 (22日) (#)
					7, 14, 21	圃場B : 0.19 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場C : 0.44 (14日) (#)
					7, 13, 21	圃場D : 0.55 (13日) (#)
					7, 14, 21	圃場E : 0.21 (21日) (#)
					7, 14, 21	圃場F : 0.55 (14日) (#)
綿実 (種子)	3	21.4%フロアブル +21.4%フロアブル +21.4%フロアブル	250g ai/100kg種子 (2.5 g ai/kg種子)、種 子塗沫 +0.03 g ai/m (条) 畝処理 +7.5 fl oz 製剤/A(0.1131kg ai/ha) 散布	1+1+2	20	圃場A : <1.00
					13	圃場B : <1.00
					14	圃場C : <1.00
なたね (種子)	6	40.7%フロアブル	16 oz ai/cwt(10 g ai/kg種子)、 種子塗沫	1	199	圃場A : <0.05
					288	圃場B : <0.05
					277	圃場C : <0.05
					129	圃場D : <0.05
					112	圃場E : <0.05
					146	圃場F : <0.05

農作物 (試験部位)	試験 圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)	
		剤形	使用量・使用方法	回数	経過日数	【6-CNA法】(*)
ペカン (果実)	7	21.4%フロアブル	0.5 lb ai/A (0.56 kg ai/ha) 土壌処理	1	150	圃場A: <0.05
					150	圃場B: <0.05
					109	圃場C: <0.05
					127	圃場D: <0.05
					115	圃場E: <0.05
					102	圃場F: <0.05
					99	圃場G: <0.05
ペカン (果実)	6	21.4%フロアブル	0.17 lb ai/A (0.19 kg ai/ha) 散布	2	31	圃場A: <0.05
					20	圃場B: <0.05
					4	圃場C: <0.05
					21	圃場D: <0.05
					17	圃場E: <0.05
					8	圃場F: <0.05
ペカン (果実)	5	17.4%フロアブル	0.17~0.18 lb ai/A (0.19~0.20 kg ai/ha) 散布	2	0, 7, 14, 21	圃場A: <0.01 (7日)
					7	圃場B: <0.01
					7	圃場C: <0.01
					7	圃場D: 0.01
					7	圃場E: <0.01
アーモンド (果実)	5	17.4%フロアブル	0.17~0.18 lb ai/A (0.19~0.20 kg ai/ha) 散布	2	0, 7, 14, 21	圃場A: <0.01 (7日)
					7	圃場B: <0.01
					7	圃場C: <0.01
					7	圃場D: <0.01
					7	圃場E: <0.01
さとうきび (茎)	1	0.5%粒剤	3.75 g ai/100m	1	147	圃場A: <0.02
さとうきび (茎)	1	0.5%粒剤	7.50 g ai/100m	1	147	圃場A: <0.02
カカオ豆 (種実)	3	200g/L フロアブル	30 g ai/ha 散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.011 (3日)
					0, 1, 3	圃場B: 0.023 (3日)
					0, 1, 3, 7, 14, 20	圃場C: 0.030 (20日)
カカオ豆 (種実)	1	200g/L フロアブル	150 g ai/ha 散布	4	0, 1, 3, 7, 14, 20	圃場A: 0.044 (0日)
コーヒー豆 (種実)	5	17.4%フロアブル	0.10 lb ai/A (0.112 kg ai/ha) 散布	5	6	圃場A: 0.192
					7	圃場B: 0.482
					6	圃場C: 0.295
					7	圃場D: 0.353
					7	圃場E: 0.370

最大使用条件下の作物残留試験に、アンダーラインを付している。

(\*) 6-クロロニコチル基を有するイミダクロプリド及び代謝物の総量。(カカオ豆を除く。)

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
米(玄米をいう)	1	0.2	申	0.05		<0.005, <0.005 / <0.005, <0.005(#) / 0.038, 0.018 / <0.005, 0.006 / 0.058, 0.036 / 0.076, 0.030 / 0.08, 0.02 / 0.04(#), 0.04(#) / 0.08 / 0.16, 0.09 / <0.01(#), <0.01(#) / 0.05(#), 0.03(#) / 0.22(#), 0.31(#)(\\$) / 0.26(#), 0.28(#) / 0.02, 0.02	
小麦	0.05	0.05	○	0.05	0.05	アメリカ	0.013(#), <0.005 / 0.016(#), <0.005(#)
大麦	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ	
ライ麦	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ	
とうもろこし	0.05	0.1	○	0.05	0.05	アメリカ	<0.01(#), <0.01(#)(乾燥 種子)
そば	0.05	0.05		0.05			<0.01(#), <0.01(#)(生食 用子実)
その他の穀類	0.05	0.05	経	0.05	0.05	アメリカ	<0.01(#), <0.01(#)(脱穀 種子)
大豆	3.5	1	○		3.5	アメリカ	0.01(#), <0.01(#) 【0.029-2.04(n=24)(米国 大豆)】
小豆類(いんげん、ささげを含む)	4.0	4	○		4.0	アメリカ	0.05(#), 0.04(#) 【0.133-1.120(n=11)(米 国いんげん)】
えんどう	4.0	1	○		4.0	アメリカ	【0.138-1.030(n=6)(米国 えんどう)】
そらまめ	4.0	1	○		4.0	アメリカ	【米国いんげん、えんどう 参照】
らっかせい	0.2	1	○		0.45	アメリカ	<0.05, <0.05
その他の豆類	4.0	1	○		4.0	アメリカ	【米国いんげん、えんどう 参照】
ばれいしょ	0.5	0.5	○	0.5	0.40	アメリカ	0.186(#), 0.020(#) / 0.02(#), 0.02(#) / <0.02, <0.02 / <0.02, <0.02 /0.02, <0.01 【<0.05-0.28(n=25)(米国 ばれいしょ)】
さといも類(やつがしらを含む)	0.05	0.1	○		0.40	アメリカ	<0.01(#), <0.01(#)
かんしょ	0.05	0.1	○		0.40	アメリカ	<0.01, <0.01 / <0.01(#), <0.01(#)
やまいも(長いもをいう)	0.05	0.1	○		0.40	アメリカ	<0.01(#), <0.01(#)
こんにやくいも	0.1	0.1	○				<0.01(#), 0.02(#) 【米国ばれいしょ、ラ ディッシュ、にんじん参 照】
その他のいも類	0.4	0.1			0.40	アメリカ	
てんさい	0.05	0.05	○	0.05	0.05	アメリカ	<0.01(#), <0.01(#) / <0.01(#), <0.01(#) / <0.01(#), <0.01(#)
さとうきび	0.05	0.05			0.05	オーストラリア	【<0.02(n=2)(蒙州さとうき び)】
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.1	0.1	○		0.40	アメリカ	0.014(\$), 0.011 / <0.01, <0.01 【<0.05-0.130(n=4)(米国 ラディッシュ)】
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	4.0	5	○		4.0	アメリカ	0.013, 0.022 / 0.20, 0.01 【0.534-2.744(n=4)(米国 ラディッシュの葉)】 【米国ビート葉参照】

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
かぶ類の根	0.4	0.1		0.40	アメリカ	【米国ばれいしょ、ラ ディッシュ、にんじん参 照】
かぶ類の葉	4.0	5		4.0	アメリカ	【米国ビート葉参照】 【米国ばれいしょ、ラ ディッシュ、にんじん参 照】
西洋わさび	0.4	0.1		0.40	アメリカ	
クレソン	3.5	5		3.5	アメリカ	【米国ほうれんそう参照】
はくさい	0.5	0.5	○	3.5	アメリカ	0.06(#), 0.11(#) / 0.06, 0.06 / 0.05(#), 0.13(#)( $\$$ ) 0.04(#), 0.21(#) / 0.02(#) / 0.16(#), 0.05(#) / 0.20(#), 0.07(#)
キャベツ	0.5	0.5	○	0.5	アメリカ	<0.02, <0.02(芽キャベツ) <0.2, <0.2 / 0.5, <0.2 (非結球芽キャベツ)
芽キャベツ	0.5	0.5	○	0.5	アメリカ	
ケール	5	5	緊	3.5	アメリカ	
こまつな	5	5	緊	3.5	アメリカ	
きょうな	5	5	緊	3.5	アメリカ	1.36, 2.39 / 1.30, 2.20
チンゲンサイ	5	5	緊	3.5	アメリカ	
カリフラワー	0.5	5		0.5	アメリカ	
ブロッコリー	5	5	申	0.5	アメリカ	0.28(#), 1.94(#) / 0.40, 2.30( $\$$ )
その他のあぶらな科野菜	5	5	緊	3.5	アメリカ	0.04 / 0.25 / 0.38, 0.38, 0.75(畑わさび) 2.30(#), 0.74(#) / 1.37(#), 0.27(#) / 0.2(#), 0.06(#)(わさび) 1.61, 0.46(なほな)
ごぼう	0.05	0.1	○	0.40	アメリカ	<0.01, <0.01
サルシフィー	0.4	0.1		0.40	アメリカ	【米国ばれいしょ、ラ ディッシュ、にんじん参 照】
アーティチョーク	2.5	5		2.5	アメリカ	【1.060-1.886(n=3)(米国 アーティチョーク)】
チコリ	4.0	5		4.0	アメリカ	【米国ビート葉参照】
エンダイブ	5	5	○	3.5	アメリカ	2.26, 2.21(#)
しゅんぎく	5	5	経	3.5	アメリカ	
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	2	5	○	2	アメリカ	0.08(#), 0.10(#) / 0.09, 0.08 / 0.46, 0.17 / 0.47(#), 0.19(#)(レタス) 0.4, 0.2(サラダ菜) 0.8, 0.2(リーフレタス) 【<0.05-2.13(n=19)(米国 レタス・外葉あり)】 【<0.05-0.72(n=19)(米国 レタス・外葉なし)】 【0.05-2.61(n=22)(米国 リーフレタス)】
その他のきく科野菜	5	5	○	6.0	アメリカ	0.4, 2.6( $\$$ )(すいぜんじ な) 0.60, 1.14(葉ごぼう) 0.67, 0.22 / 0.72, 0.44(食用きく) 0.29, 0.22(きくの葉) 0.12, 0.08(ふき)

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
たまねぎ	0.1	0.1	○	0.1		<0.01, <0.01 / <0.01(#), <0.01(#)
ねぎ(リーキを含む)	0.7	1	○	0.05		0.16, <0.01(根深ねぎ) 0.04, 0.22(\$)(葉ねぎ)
にら	1	5	○			<0.4, <0.4
アスパラガス	0.7	5	申			0.14(#), 0.30(#)
わけぎ	2	5	○			0.7, 1.0
その他のゆり科野菜		5				
にんじん	0.1	0.1	○		0.40	アメリカ <0.01, 0.02 【<0.05-0.0896(n=6)(米 国にんじん)】 【米国ばれいしょ、ラ ディッシュ、にんじん参 照】
パースニップ	0.4	0.1			0.40	アメリカ
パセリ	3	5	○		3.5	アメリカ 0.16 / 0.36 / 1.4, 1.3 【米国ほうれんそう参照】
セロリ	6.0	5	○		6.0	アメリカ 0.30, 0.68 【0.13-5.62(n=12)(米国セ ロリ)】
みつば	5	5	申			2.77 / 2.50
その他のせり科野菜	6.0	5	○		6.0	アメリカ 0.18, 0.10(はまぼうふう) 【米国セロリ参照】
トマト	2	1	○	0.5	1.0	アメリカ 0.04, 0.12, 0.14 / 0.08 / 0.06 / 0.08 / 0.15 / 0.12, 0.13 / 0.26(#), 0.13(#)(トマト) 0.24(#), 0.52(#)(\$(ミニト マト)
ピーマン	3	3	○	1	1.0	アメリカ 0.08, 0.01 / 1.20(\$), 0.60 / 0.8, 0.8
なす	0.5	0.5	○	0.2	1.0	アメリカ <0.005, <0.005 / 0.121(\$), 0.078 / 0.04, 0.12 1.6(#)(\$, 1.2(#)(ししとう) 1.2(#), 1.5(#)(伏見甘長と うがらし)
その他のなす科野菜	5	5	○	1	1.0	アメリカ
きゅうり(ガーキンを含む)	1	1	○	1	0.5	アメリカ 0.010, <0.005 / 0.18, 0.12 / 0.04, 0.04 / 0.08(#), 0.20 / 0.42(#), 0.16(#)
かぼちゃ(スカッシュを含む)	1	1	○	1	0.5	アメリカ 0.02, 0.04 / 0.09 / 0.10
しろり	1	1	緊		0.5	アメリカ
すいか	0.5	0.5	○	0.2	0.5	アメリカ <0.01(#), 0.04(#) / 0.11(#)(\$, 0.02(#)
メロン類果実	0.2	0.2	○	0.2	0.5	アメリカ 0.01, 0.01 / 0.03, 0.03 / 0.03, 0.03 / 0.02, <0.01
まくわうり	0.2	0.5	○	0.2	0.5	アメリカ <0.02, <0.02
その他のうり科野菜	1	1	○・緊		0.5	アメリカ 0.47(#), 0.85(#) / 0.16, 0.42(\$)(にがうり)
ほうれんそう	3.5	5	○		3.5	アメリカ 0.03, 0.17 【2.84, 4.82(n=2)(米国ほ うれんそう)】
たけのこ		0.1				
オクラ	0.7	5	○		1.0	アメリカ 0.18, 0.18 / 0.12, 0.21(\$) / 0.16
しょうが	0.4	0.1			0.40	アメリカ 【米国ばれいしょ、ラ ディッシュ、にんじん参 照】
未成熟えんどう	0.5	0.5	○		4.0	アメリカ 0.06, <0.05 / 0.20, 0.14 【0.195-3.849 (n=4)(米国 えんどう(食用さや)】

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
未成熟いんげん	2	2	○	2	4.0 アメカ	0.01, 0.05 / 0.18, 0.30 【<0.05-0.89(n=6)(米国未成熟いんげん)】
えだまめ	3.5	0.5	○		3.5 アメカ	<0.01, 0.16 / 0.10, 0.16 【米国大豆参照】
マッシュルーム		0.5			0.5 オーストラリア	
しいたけ		0.5			0.5 オーストラリア	
その他のきのこ類		0.5			0.5 オーストラリア	
その他の野菜	5	5	○・申	2	6.0 アメカ	1.70, 2.01(ふだんそう) 0.4, 1.0(モロヘイヤ) 0.80, 0.36(食用さくら) 0.48, 0.30 / 0.10, 0.24(さといも葉柄) 0.23, 0.18(食用ブリンラ) 0.11, 0.20(未成熟そらまめ) 0.06 / 0.16(じゅんさい) 0.06, <0.05(むかご) <0.05, <0.05(未成熟ささげ) <0.01, <0.01(くわい) <0.01, <0.01(うど) <0.01, <0.01(ヤングコーン) <0.01, <0.01 / <0.01, <0.01 / <0.01 / <0.01(#)(おしんこん) 【<0.100-0.352(n=5)(米国ビート)】 【1.40-3.78(n=5)(米国ビート葉)】
みかん	1	1	○	1	2 オーストラリア	0.02, 0.06 / <0.01(#), <0.01(#)
なつみかんの果実全体	1	1	○	1	2 オーストラリア	0.15, 0.25 / 0.06(#)
レモン	1	1	○	1	2 オーストラリア	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	1	1	○	1	2 オーストラリア	
グレープフルーツ	1	1	○	1	2 オーストラリア	
ライム	1	1	○	1	2 オーストラリア	
その他のかんきつ類果実	1	3	○	1	2 オーストラリア	0.07(#)(いよかん) 0.03 / 0.15(#)(すだち) 0.26 / 0.05(#)(かぼす)
りんご	0.5	0.5	○	0.5	0.5 アメカ	0.120, 0.029 / 0.20, 0.12 【<0.05-0.74(n=11)(米国りんご)】
日本なし	1	1	○	1	0.6 アメカ	0.197, 0.060 / 0.14(#), 0.19(#) / 0.08, 0.06 / 0.13, 0.12 / 0.15, 0.20(#)
西洋なし	1	1	○	1	0.6 アメカ	【0.25-0.53(n=7)(米国なし)】
マルメロ	0.6	1			0.6 アメカ	【米国なし参照】 <0.02(有袋) / 0.05(有袋) / 0.18(\$)(有袋) / 2.54(無袋) / 0.19(無袋)
びわ	0.5	0.5	○		0.6 アメカ	
もも	0.5	0.5	○	0.5	3.0 アメカ	0.195, 0.140 / 0.12(#), 0.11(#) / 0.06, 0.07 / 0.16(#), 0.14(#)
ネクタリン	0.7	1	○	0.5	3.0 アメカ	0.28, 0.18
あんず(アプリコットを含む)	0.7	1	○	0.5	3.0 アメカ	0.29, 0.17
すもも(プルーンを含む)	0.2	0.2	○	0.2	3.0 アメカ	0.07(#), <0.01(#) / 0.04, <0.01
うめ	0.3	3	○			0.07, 0.06 【0.929-2.544(n=4)(米国酸味おうとう)】
おうとう(チェリーを含む)	3.0	3		0.5	3.0 アメカ	【0.243-0.630(n=8)(米国甘味おうとう)】



農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現 行 ppm	登録 有 無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
いちご	0.5	3	○		0.50	アメリカ 0.01(#), 0.03(#) / 0.81(#), 0.18(#) 【0.124-0.349(n=9)(米国 いちご)】
ラズベリー	2.5	3			2.5	アメリカ 【<0.050-0.96(n=6)(米国 ラズベリー)】
ブラックベリー	2.5	3			2.5	アメリカ 【0.38(#)-0.70(#)(n=3)(米 国ブラックベリー)】
ブルーベリー	3.5	3			3.5	アメリカ 【<0.05-2.802(n=12)(米 国ブルーベリー)】
クランベリー	0.05	3		0.05	0.05	アメリカ 【<0.050(n=5)(米国クラン ベリー)】
ハックルベリー	3.5	3			3.5	アメリカ 【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	3.5	3			3.5	アメリカ 【米国ブルーベリー参照】 【1.7(n=1)(米国マリオン ベリー)】 【1.5(n=1)(米国ボイゼン ベリー)】
ぶどう	3	3	○	1	1.5	カナダ 1.338(\$), 0.256 / 0.16(#), 0.28(#) / 0.26, 0.06, 0.76, 0.72 / 0.59(#), 0.74(#) / 0.08(#), 0.08(#) / 0.06(#), 0.12(#) / 0.78, 0.41
かき	1	1	○		3.0	アメリカ 0.35, 0.28
バナナ	0.05	0.05		0.05	0.50	アメリカ <0.05, <0.05
キウイ	0.2	0.5	○			【0.19-0.59(n=3)(米国パ パイヤ)】
パパイヤ	1.0	1			1.0	アメリカ 【<0.050(n=5)(米国アボカ ド)】
アボカド	1.0	1			1.0	アメリカ 【米国パパイヤ参照】
パイナップル	1.0	1				【0.126-0.400(n=4)(米国 グアバ)】
グアバ	1.0	1			1.0	アメリカ 0.49(#), 0.45(#)
マンゴー	1	1	○	0.2	1.0	アメリカ 0.15, 0.28 【米国グアバ参照】
パッションフルーツ	1.0	3	申		1.0	アメリカ
なつめやし		3				
その他の果実	3.0	3	○		3.0	アメリカ 0.18(#), 0.30(#)(アセロラ) 0.26, 0.11(ビタヤ) 0.18 / <0.02(アデモヤ) 【米国おうとう参照】
ひまわりの種子	0.05	0.02			0.05	アメリカ 【<0.05(n=6)(米国ひまわ り)】
べにばなの種子	0.05	0.05			0.05	アメリカ 【米国ひまわり、なたね参 照】
綿実	5	3			6.0	アメリカ 【0.17-2.51(n=19)(米国 綿実)】
なたね	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ 【<0.05(n=6)(米国なた ね)】
その他のオイルシード	0.05	2			0.05	アメリカ 【米国ひまわり、なたね参 照】
ぎんなん	0.1	0.1	経			
くり	0.05	0.1	○		0.05	アメリカ <0.005(#) / 0.01(#) <0.01, <0.01
ペカン	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ 【<0.01-<0.05(n=18)(米 国ペカン)】
アーモンド	0.05	0.1			0.05	アメリカ 【<0.01(n=5)(米国アーモ ンド)】
くるみ	0.05	0.1			0.05	アメリカ 【米国ペカン、アーモンド 参照】
その他のナッツ類	0.05	0.1			0.05	アメリカ 【米国ペカン、アーモンド 参照】

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
茶	10	10	○			2.30, 1.92 / 3.84, 3.98(荒茶) 1.85, 1.90 / 2.53, 3.31(浸出液)
コーヒー豆	0.8		IT		0.80 アメカ	【0.192-0.482(n=5)(米国 コーヒー豆)】
カカオ豆	0.05	0.05			0.05 EU(オランダ)	【0.011-0.044(n=4)(カカ オ豆)】
ホップ	10	10		10	6.0 アメカ	
その他のスパイス	5	5			0.05 アメカ	1.08, 2.28 / 0.24(#), 0.22(#)(みかんの果皮)  2.4, 1.4(あさつき) 1.49, 1.07(コリアンダー) 0.70, 0.28 / 1.68, 0.18(しそ) <0.02 / <0.04(みょうが) <0.1, <0.1(さんしょう)
その他のハーブ	5	5	○		8.0 アメカ	
牛の筋肉	0.1	0.02		0.02	0.3 アメカ	推:0.024
豚の筋肉	0.1	0.02		0.02	0.3 アメカ	(牛の筋肉参照)
その他の陸棲哺乳類の筋肉	0.1	0.02		0.02	0.3 アメカ	(牛の筋肉参照)
牛の脂肪	0.02	0.3			0.3 アメカ	推:<0.02
豚の脂肪	0.02	0.3			0.3 アメカ	(牛の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.02	0.3			0.3 アメカ	(牛の脂肪参照)
牛の肝臓	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	推:0.089
豚の肝臓	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の肝臓参照)
牛の腎臓	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	推:0.053
豚の腎臓	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の腎臓参照)
牛の食用部分	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の肝臓、牛の腎臓参照)
豚の食用部分	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の肝臓、牛の腎臓参照)
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.2	0.05		0.05	0.3 アメカ	(牛の肝臓、牛の腎臓参照)
乳	0.1	0.02		0.02	0.1 アメカ	推:0.027
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02	0.05 アメカ	推:<0.02
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02	0.05 アメカ	(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.02	0.05			0.05 アメカ	推:<0.02
その他の家きんの脂肪	0.02	0.05			0.05 アメカ	(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.1	0.02		0.02	0.05 アメカ	推:0.017
その他の家きんの肝臓	0.1	0.02		0.02	0.05 アメカ	(鶏の肝臓参照)
鶏の腎臓	0.1	0.02		0.02	0.05 アメカ	(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.1	0.02		0.02	0.05 アメカ	(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.1	0.02		0.02	0.05 アメカ	(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.1	0.02		0.02	0.05 アメカ	(鶏の肝臓参照)
鶏の卵	0.02	0.02		0.02	0.02 アメカ	推:<0.02
その他の家きんの卵	0.02	0.02		0.02	0.02 アメカ	(鶏の卵参照)
小麦粉(全粉粒を除く。)	0.03	0.03		0.03		
小麦ふすま	0.3	0.3		0.3		
とうがらし(乾燥させたもの)	10			10		

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。  
 (\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。  
 (#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。  
 「作物残留試験」欄に「推:」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。